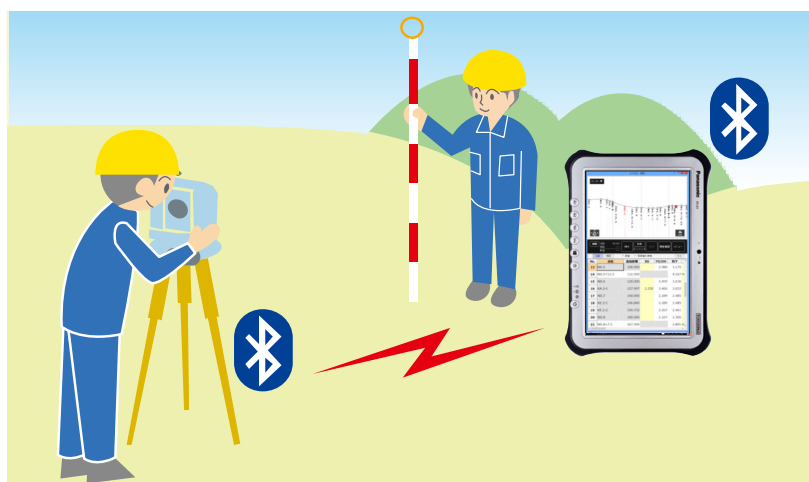


路線縦横断連携

BLUETREND **XA**



BLUETREND XAとX-FIELDの
路線縦横断連携の操作を、簡単な
入力例で解説しています。



X-FIELD



BLUETREND **XA**



※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。

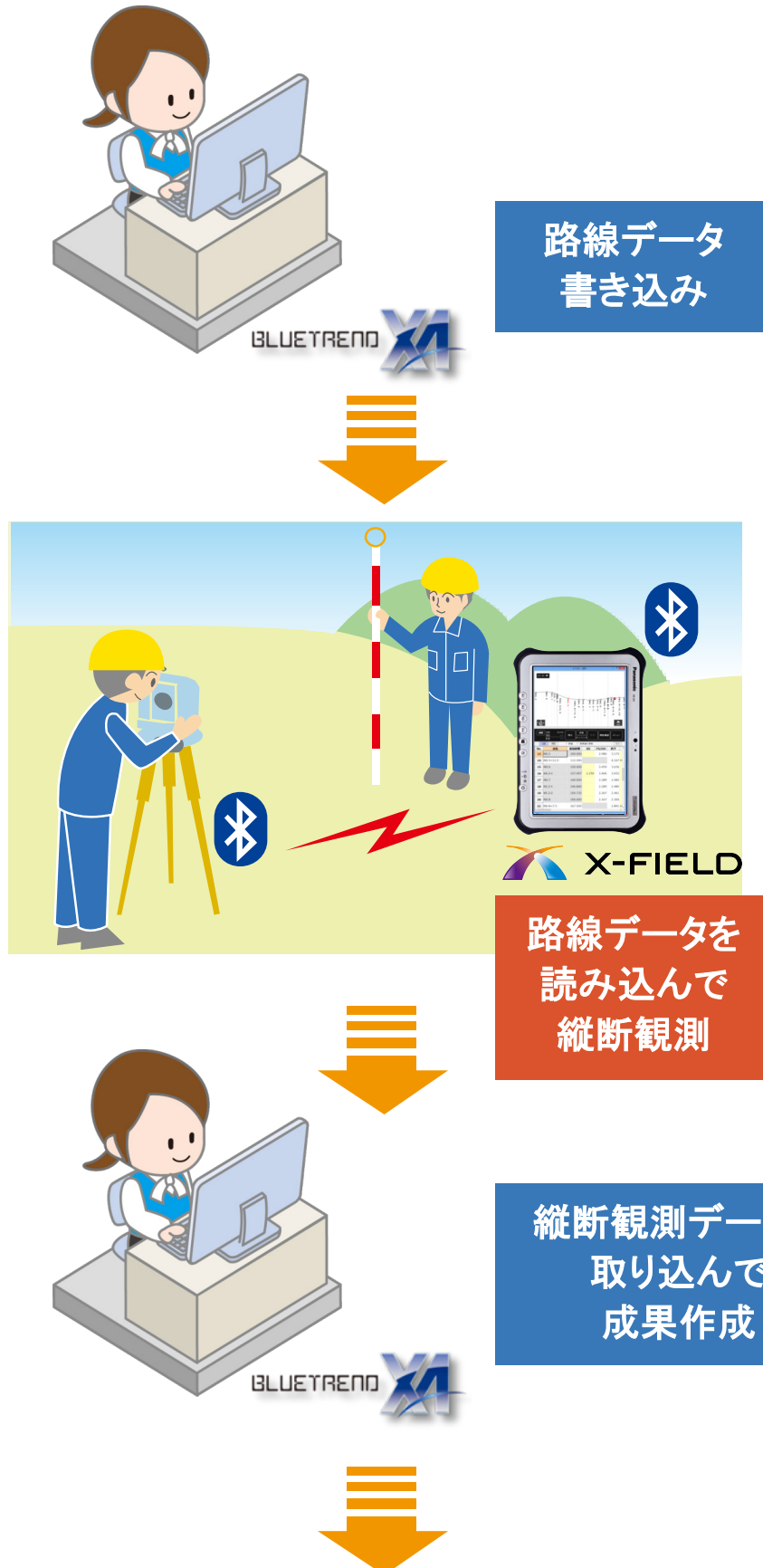
目次

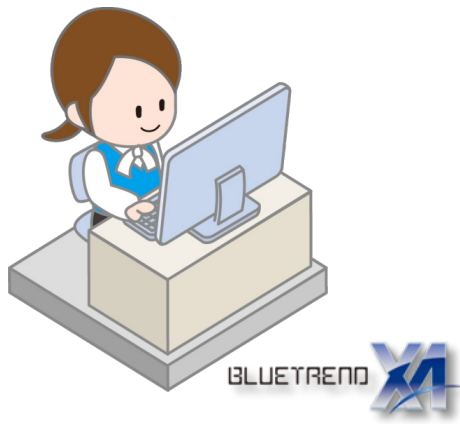
路線縦横断連携

1. 路線縦横断連携(入力例)の流れ	1
2. 路線データの書き込み	3
2-1 路線データを書き込む	3
3. 縦断観測	4
3-1 路線データを読み込む	4
3-2 縦断観測を起動する	5
3-3 観測データを入力する	6
3-4 作業データを保存する	9
4. 縦断成果	10
4-1 X-FIELDで追加したプラス杭を取り込む	10
4-2 中間点を再計算する	11
4-3 座標を登録する	12
4-4 縦断観測データを取り込む	13
4-5 縦断成果を作成する	15
4-6 路線データを取り込む	16
4-7 座標を登録する	18
5. 路線データの書き込み	20
5-1 路線データを書き込む	20
6. 横断観測	21
6-1 路線データを読み込む	21
6-2 横断観測を起動する	22
6-3 TS観測をおこなう	24
6-4 作業データを保存する	25
7. 横断成果	26
7-1 横断観測データを取り込む	26
7-2 横断成果を作成する	30

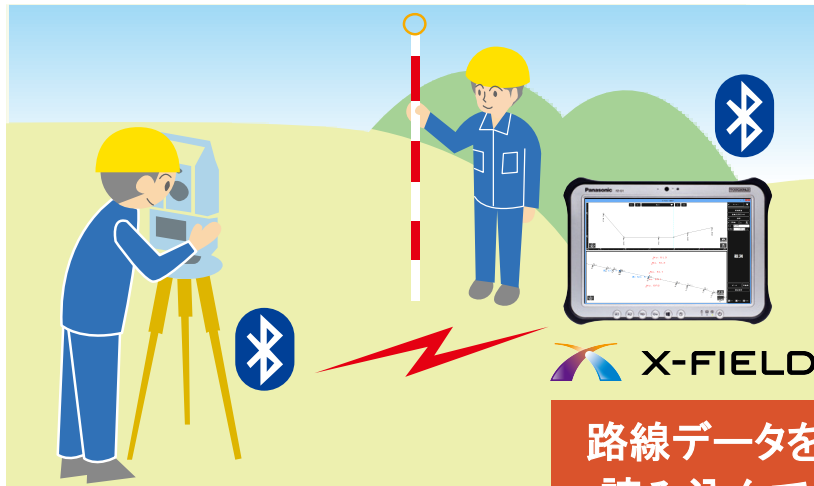
1 路線縦横断連携(入力例)の流れ

本書では、以下の流れで、BLUETREND XAとX-FIELDの路線縦横断連携の操作を解説します。

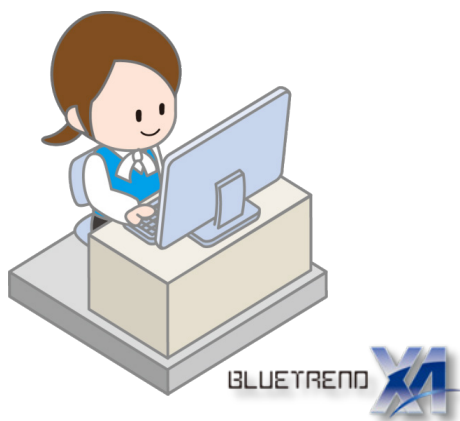




杭高をプラスした
路線データ書き込み



路線データを読み込んで
横断観測



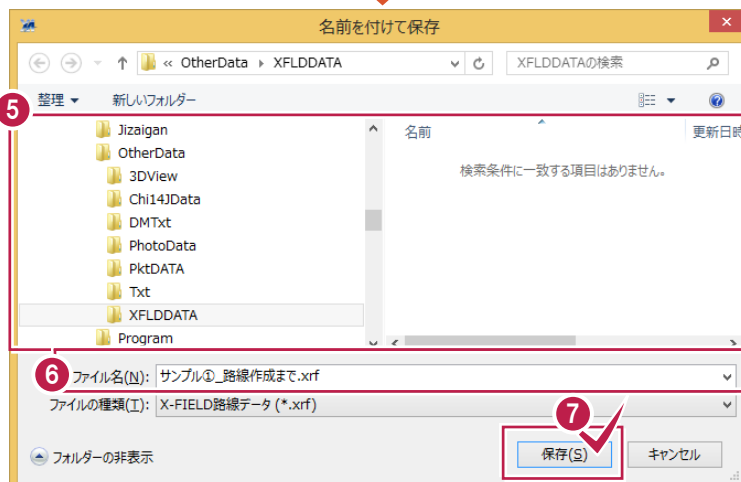
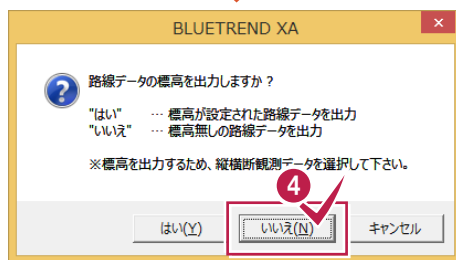
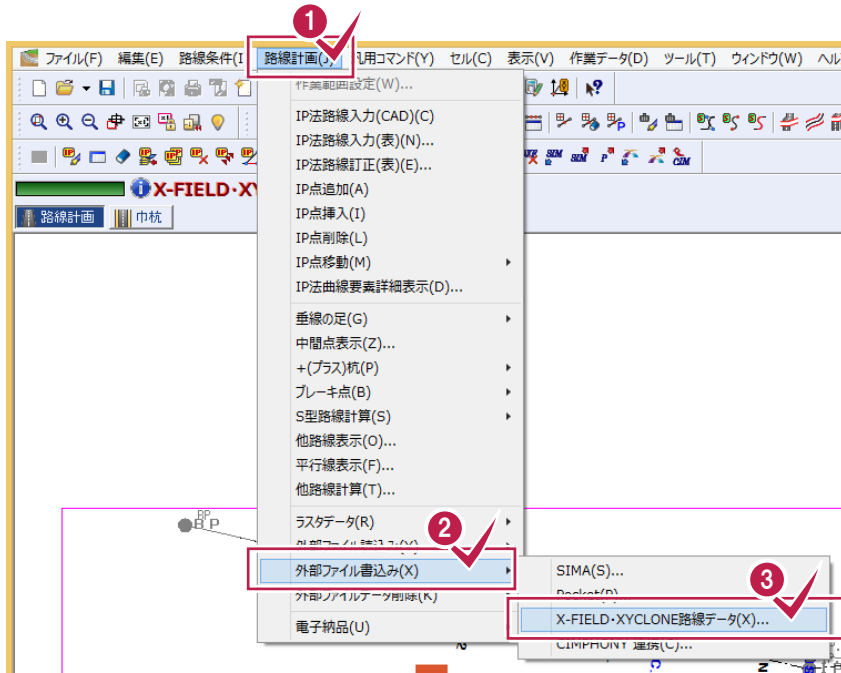
横断観測データを取り込んで
成果作成

2 路線データの書き込み

BLUETREND XAの路線測量で作成した路線データを、X-FIELDで読み込めるデータ(xrf)としてファイルに書き込みます。

2-1 路線データを書き込む

路線データを書き込みます。



- 1 路線測量の[路線計画]をクリックします。
- 2 [外部ファイル書き込み]をクリックします。
- 3 [X-FIELD·XYCLONE路線データ]をクリックします。

- 4 ここでは、標高無しの路線データを出力するので、[いいえ]をクリックします。

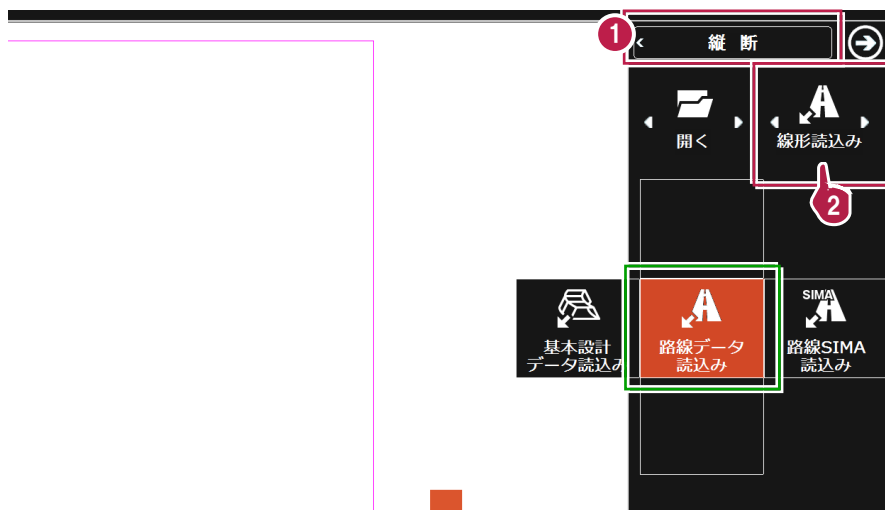
- 5 保存先を指定します。
- 6 ファイル名を入力します。
- 7 [保存]をクリックします。

3 縦断観測

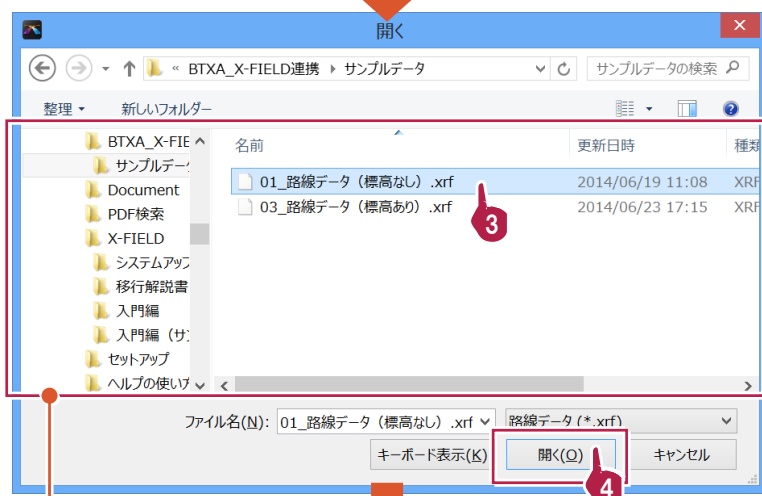
X-FIELDで、BLUTREND XAの路線データを読み込んで、縦断観測をおこないます。

3-1 路線データを読み込む

ここでは、サンプルの路線データ「01_路線データ(標高なし).xrf」を読み込みます。

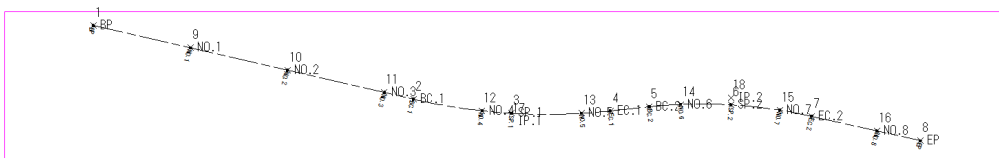


- 1 X-FIELDの観測パネルで、[縦断]を選択します。
- 2 [線形読み込み]をフリックして、[路線データ読み込み]を選択します。



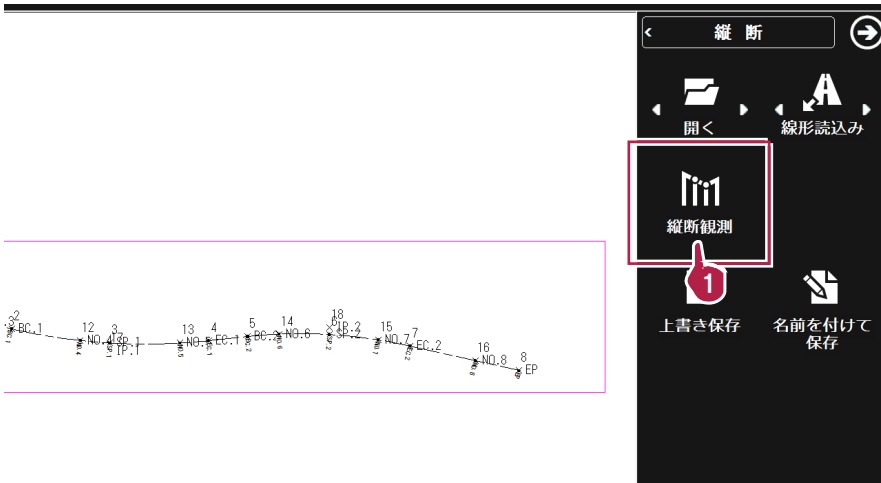
- 3 読み込む路線データのファイルをタップします。
- 4 [開く]をタップします。

サンプルデータは、[ヘルプ]-[マニュアル]コマンドで表示されるマニュアルサイトからダウンロード可能です。
※利用するには、インターネット接続環境が必要です。

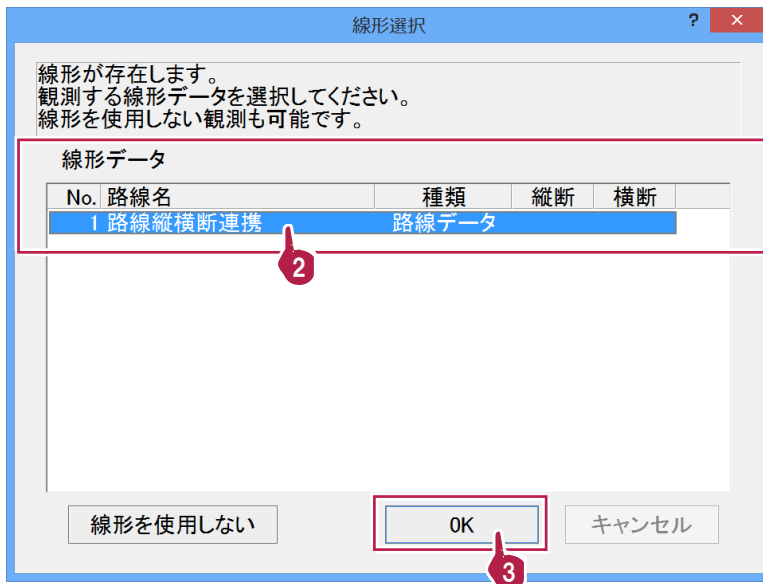


3-2 縦断観測を起動する

縦断観測を起動します。

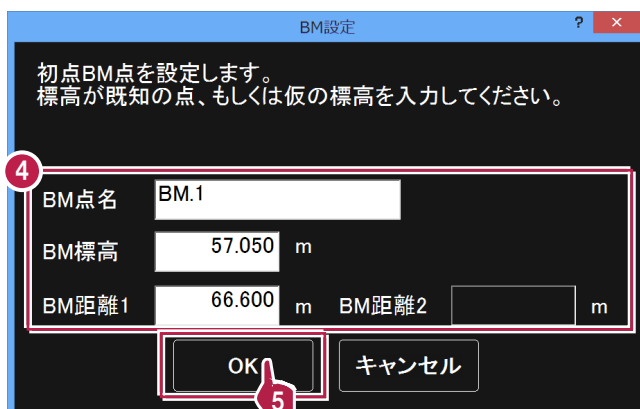


1 [縦断観測]をタップします。



2 観測する線形データをタップします。

3 [OK]をタップします。



4 BM点名、BM標高、BM距離1を入力します。

5 [OK]をタップします。

3-3 観測データを入力する

観測データを入力します。

No.	点名	追加距離	BS	FS/DH	杭下	構造物等
1	BM.1		3.013			
2	BP	0.000				



No.	点名	追加距離	BS	FS/DH	杭下	構造物等
1	BM.1		3.013			
2	BP	0.000		3.208	3.321	
3	NO.1	20.000		3.087	3.172	
4	NO.2	40.000		2.583	2.696	
5	NO.2+5.2	45.200		2.563	2.676	
6	NO.2+6.7	46.700			3.679	HPφ300
7	NO.2+13.2	51.700			3.670	HPφ300
8	NO.2+14.8	54.800		2.555	2.671	
9	NO.3	60.000	3.602	2.469	2.572	
10	BC.1	65.977		3.429	3.558	
11	NO.4	80.000		2.890	2.973	
12	SP.1	85.912		2.669	2.791	
13	NO.5	100.000	3.690	1.709	1.872	
14	EC.1	105.846		3.182	3.232	
15	BC.2	113.667		2.672	2.795	
16	NO.6	120.000		2.428	2.583	
17	SP.2	130.095		2.310	2.772	
18	NO.7	140.000		2.092	2.203	
19	EC.2	146.523		2.025	2.166	
20	NO.7+15.200	155.200			3.355	BOX400×400
21	NO.8	160.000		2.051	2.173	
22	EP	168.916		2.159	2.317	
23	BM.2			0.830		
24						

1 初点BMのBSを入力します。

2 往路の観測データを入力します。

Check

縦断観測の観測データ入力の詳細については「縦断観測.pdf」を参照してください。
「縦断観測.pdf」は、[ヘルプ]-[マニュアル]コマンドで表示されるマニュアルサイトにあります。

※利用するには、インターネット接続環境が必要です。

往路、復路の標高値、較差が表示されます。
[制限]で往復の標高差の制限を設定できます。

4

No.	点	追加距離	BS	FS/DH	杭下	構造物等
1	BM.2		1.902			
2	EP	168.916		3.237	3.364	
3	NO.8	160.000		3.126	3.251	
4	NO.7+15.200	155.200				BOX400×400
5	EC.2	146.523		3.096	3.229	
6	NO.7	140.000		3.163	3.309	
7	SP.2	130.095		3.386	3.812	
8	NO.6	120.000		3.505	3.672	
9	BC.2	113.667		3.744	3.892	
10	EC.1	105.846		4.253	4.402	
11	NO.5	100.000	1.502	4.764	4.892	
12	SP.1	85.912		2.467	2.619	
13	NO.4	80.000		2.682	2.821	
14	BC.1	65.977		3.224	3.397	
15	NO.3	60.000	2.219	3.396	3.518	
16	NO.2+14.8	54.800		2.308	2.456	
17	NO.2+13.2	51.700				HPφ300
18	NO.2+6.7	46.700				HPφ300
19	NO.2+5.2	45.200		2.311	2.378	
20	NO.2	40.000		2.333	2.481	
21	NO.1	20.000		2.837	2.999	
22	BP	0.000		2.957	3.092	
23	BM.1			2.766		

3 往路の観測データを入力を終了したら、[復路]をタップします。

4 復路の観測データを入力します。

[精度確認]で精度を確認することもできます。

精度確認

BM区間		往復観測差	0.006 m
No.	区間名	観測距離 S	0.213 km
1	BM.1 ~ BM.2	許容範囲	3級 10.0 mm√S
		較差制限値	4 mm
		既知高低差との閉合差 (結合区間のみ)	往 復
			mm mm

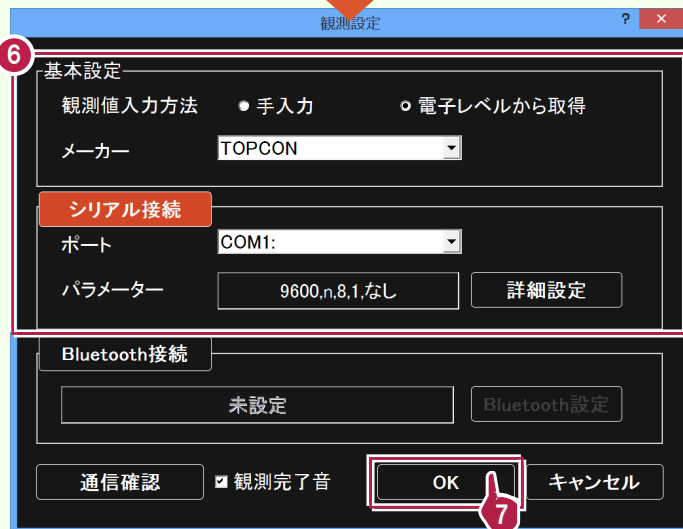
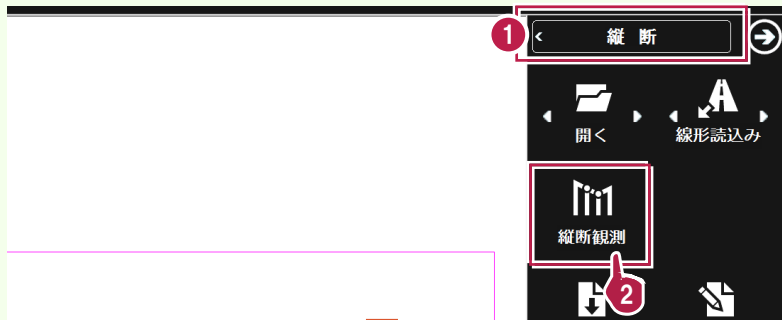
TP間の観測差 往復平均結果

No.	点名	追加距離	往路高低差	復路高低差	往復差
1	BM.1				
2	BP	0.000			
3	NO.1	20.000			
4	NO.2	40.000			
5	NO.2+5.2	45.200			
6	NO.2+6.7	46.700			
7	NO.2+10.2	50.200			
8	NO.2+14.8	54.800			
9	NO.3	60.000	0.544	-0.547	-0.003
10	BC.1	65.977			
11	NO.4	80.000			
12	SP.1	85.912			

閉じる

電子レベルと接続して、電子レベルの観測データを取り込む

電子レベルと接続して、電子レベルの観測データを取り込むこともできます。



No.	点名	追加距離	BS	FS/DH
1	BM.1		3.013	
2	BP	0.000		3.208

観測値が取り込まれます。

3-4 作業データを保存する

観測データの入力を終了したら、作業データを保存します。

The screenshot shows the software interface with a table of points and a menu. The menu is open, and the '縦断観測を閉じる' (Close Vertical Section Observation) option is selected. The next screen shows the '縦断' (Vertical Section) menu with the '名前を付けて保存' (Save with Name) option selected. The final screen is a file explorer window showing the '名前を付けて保存' (Save with Name) dialog box.

No.	点名	追加距離
1	BM.1	
2	BP	0.00
3	NO.1	20.00
4	NO.2	40.00
5	NO.2+5.2	45.20
6	NO.2+6.7	46.70
7	NO.2+10.2	50.20
8	NO.2+14.8	54.80
9	NO.3	60.00
10	BC.1	65.97
11	NO.4	80.00

名前を付けて保存

ファイル名(N): 縦断往復観測データ
ファイルの種類(I): X-FIELD データ (*.XFD)

保存(S) キャンセル

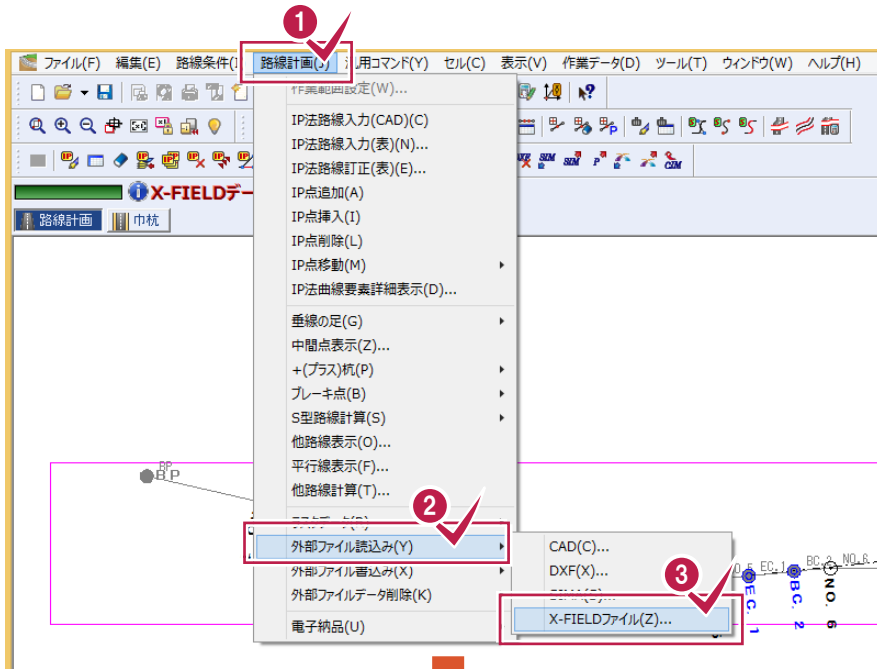
- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [縦断観測を閉じる]をタップします。
- 3 [名前を付けて保存]をタップします。
- 4 保存先を指定します。
- 5 ファイル名を入力します。
- 6 [保存]をタップします。

4 縦断成果

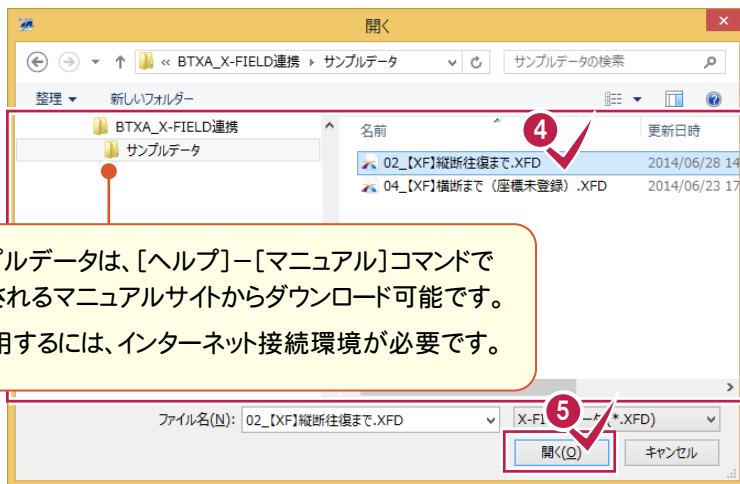
BLUETREND XAで既存の路線データに、X-FIELDで追加したプラス杭と縦断観測データを取り込んで、縦断成果を作成します。

4-1 X-FIELDで追加したプラス杭を取り込む

ここでは、サンプルの X-FIELD データ「02_【XF】縦断往復まで.XFD」から取り込みます。



- 1 路線測量の[路線計画]をクリックします。
- 2 [外部ファイル読み込み]をクリックします。
- 3 [X-FIELDファイル]をクリックします。



サンプルデータは、[ヘルプ]-[マニュアル]コマンドで表示されるマニュアルサイトからダウンロード可能です。
※利用するには、インターネット接続環境が必要です。

- 4 読み込むX-FIELDデータのファイルをクリックします。
- 5 [開く]をクリックします。
- 6 追加されたプラス杭を確認します。
- 7 [OK]をクリックします。

追加された測点が青色で表示されます。

X-FIELD読み込み

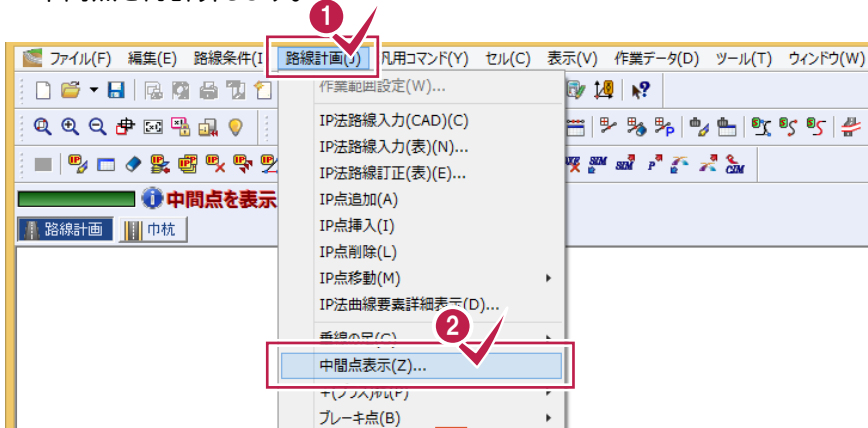
読み込み結果中間点(M) 追加測点のみ表示(A)

No.	点名	単距離	追加距離
1	EP	0.000	0.000
2	NO.1	20.000	20.000
3	NO.2	20.000	40.000
4	NO.2+5.2	5.200	45.200
5	NO.2+14.8	9.600	54.800
6	NO.3	5.200	60.000
7	BC.1	5.977	65.977
8	NO.4	14.023	80.000
9	SP.1	5.912	85.912
10	NO.5	14.088	100.000
11	EC.1	5.846	105.846
12	BC.2	7.821	113.667
13	NO.6	6.333	120.000
14	SP.2	10.095	130.095
15	NO.7	9.905	140.000
16	EC.2	6.523	146.523
17	NO.8	13.477	160.000
18	EP	8.916	168.916

OK キャンセル

4-2 中間点を再計算する

中間点を再計算します。

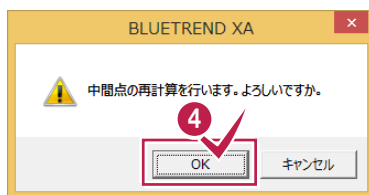


中間点要素表

No.	点番	点名	杭No	+距離	単距離	実際の追加距離	ブレイキ	X座標	Y座標	接線方向角	登録
1	1	BP	0	0.000	0.000	0.000		-57225.641	-21554.367	102.5642	
2	102	NO.1	1	0.000	20.000	20.000		-57230.121	-21534.875	102.5642	○
3	103	NO.2	2	0.000	20.000	40.000		-57234.602	-21515.384	102.5642	○
4		NO.2+5.2	2	5.200	5.200	45.200		-57235.766	-21510.316	102.5642	○
5		NO.2+14.8	2	14.800	9.600	54.800		-57237.917	-21500.960	102.5642	○
6			3	0.000	5.200	60.000		-57239.082	-21495.892	102.5642	○
7	105	BC.1	3	5.977	5.977	65.977		-57240.421	-21490.067	102.5642	○
8	106	NO.4	4	0.000	14.023	80.000		-57242.757	-21476.248	96.1458	○
9	107	SP.1	4	5.912	5.912	85.912		-57243.256	-21470.358	93.2536	○
10	108	NO.5	5	0.000	14.088	100.000		-57243.271	-21456.278	86.4201	○
11	109	EC.1	5	5.846	5.846	105.846		-57242.793	-21450.451	83.5431	○
12	110	BC.2	5	13.667	7.821	113.667		-57241.963	-21442.675	83.5431	○
13	111	NO.6	6	0.000	6.333	120.000		-57241.490	-21436.361	87.3214	○
14	112	SP.2	6	10.095	10.095	130.095		-57241.566	-21426.270	93.1917	○
15	113	NO.7	7	0.000	9.905	140.000		-57242.628	-21416.427	98.5947	○
16	114	EC.2	7	6.523	6.523	146.523		-57243.858	-21410.021	102.4402	○
17	115	NO.8	8	0.000	13.477	160.000		-57246.829	-21396.875	102.4402	○
18	4	EP	8	8.916	8.916	168.916		-57248.794	-21388.179	102.4402	○

追加された杭には、まだ点番が付いていません。[再計算]を実行して、連番を振り直します。

3 [再計算] をクリックします。



中間点要素表

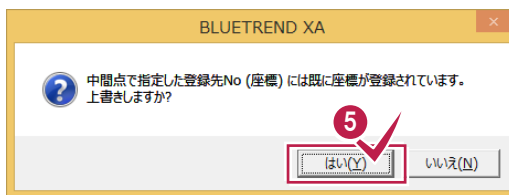
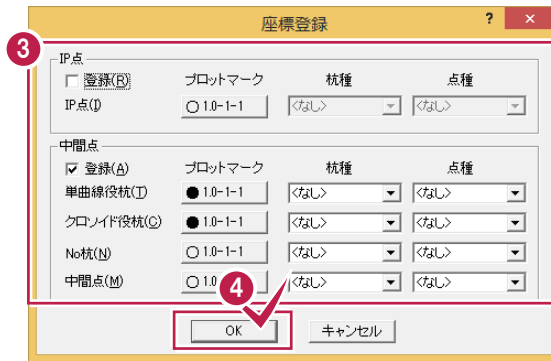
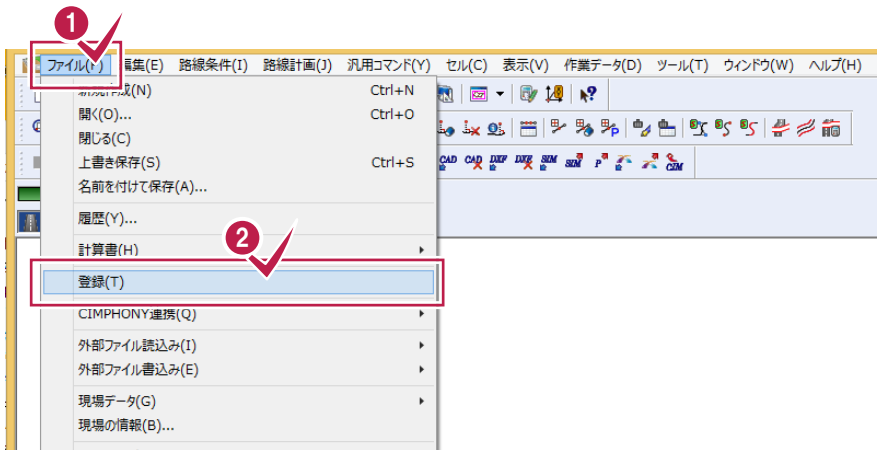
No.	点番	点名	杭No	+距離	単距離	実際の追加距離	ブレイキ	X座標	Y座標	接線方向角	登録
1	1	BP	0	0.000	0.000	0.000		-57225.641	-21554.367	102.5642	
2	102	NO.1	1	0.000	20.000	20.000		-57230.121	-21534.875	102.5642	○
3	103	NO.2	2	0.000	20.000	40.000		-57234.602	-21515.384	102.5642	○
4	104	NO.2+5.2	2	5.200	5.200	45.200		-57235.766	-21510.316	102.5642	○
5	105	NO.2+14.8	2	14.800	9.600	54.800		-57237.917	-21500.960	102.5642	○
6	106	NO.3	3	0.000	5.200	60.000		-57239.082	-21495.892	102.5642	○
7	107	BC.1	3	5.977	5.977	65.977		-57240.421	-21490.067	102.5642	○
8	108	NO.4	4	0.000	14.023	80.000		-57242.757	-21476.248	96.1458	○
9	109	SP.1	4	5.912	5.912	85.912		-57243.256	-21470.358	93.2536	○
10	110	NO.5	5	0.000	14.088	100.000		-57243.271	-21456.278	86.4201	○
11	111	EC.1	5	5.846	5.846	105.846		-57242.793	-21450.451	83.5431	○
12	112	BC.2	5	13.667	7.821	113.667		-57241.963	-21442.675	83.5431	○
13	113	NO.6	6	0.000	6.333	120.000		-57241.490	-21436.361	87.3214	○
14	114	SP.2	6	10.095	10.095	130.095		-57241.566	-21426.270	93.1917	○
15	115	NO.7	7	0.000	9.905	140.000		-57242.628	-21416.427	98.5947	○
16	116	EC.2	7	6.523	6.523	146.523		-57243.858	-21410.021	102.4402	○
17	117	NO.8	8	0.000	13.477	160.000		-57246.829	-21396.875	102.4402	○
18	4	EP	8	8.916	8.916	168.916		-57248.794	-21388.179	102.4402	○
19											
20											

5 振り直された点番を確認して、[OK]をクリックします。

点番が連番で振り直されます。

4-3 座標を登録する

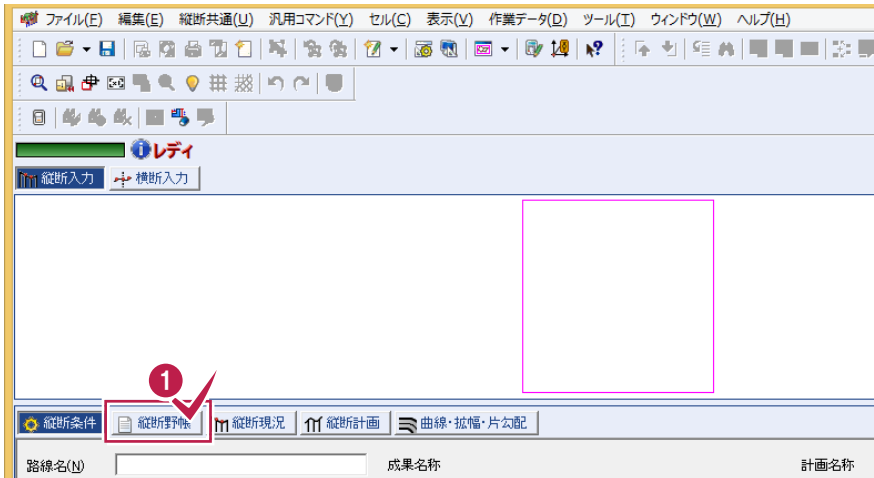
座標を登録します。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [登録]をクリックします。
- 3 登録する座標を設定します。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 確認のメッセージが表示されますので[はい]をクリックします。

4-4 縦断観測データを取り込む

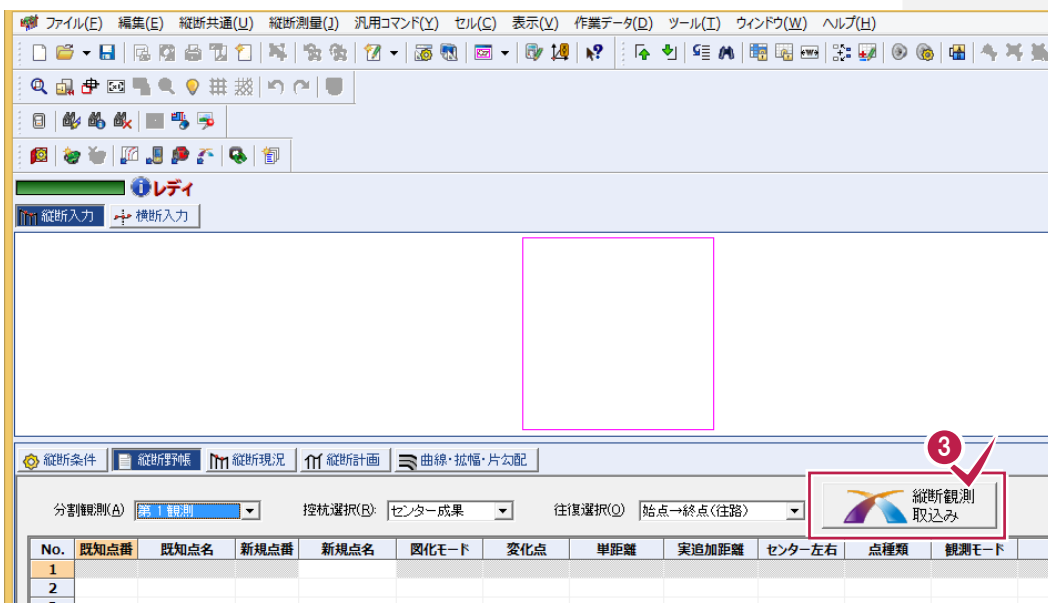
ここでは、サンプルの X-FIELD データ「02_【XF】縦断往復まで.XFD」を取り込みます。



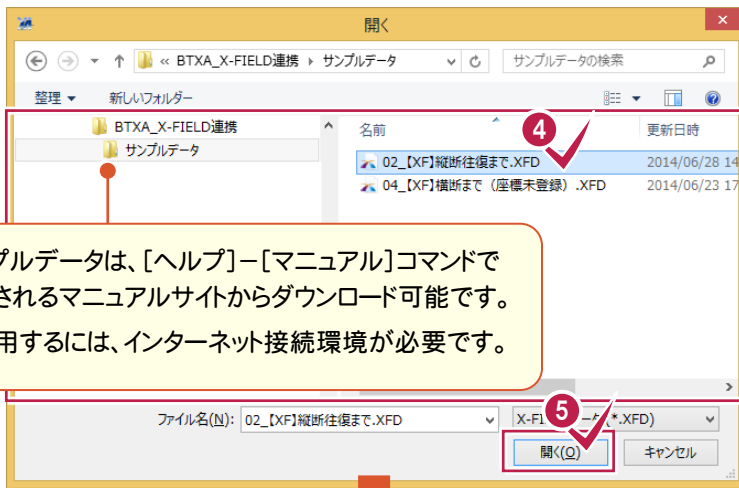
1 縦横断測量の[縦断野帳]タブをクリックします。



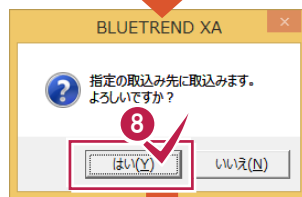
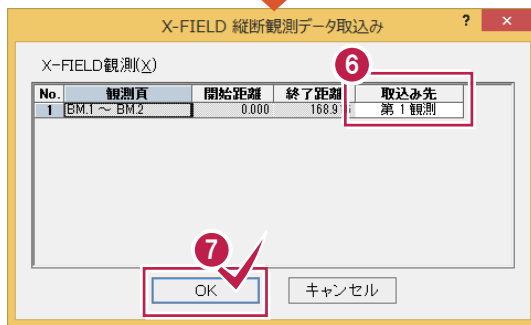
2 初期条件を確認して、[OK]をクリックします。



3 [縦断観測取込み]をクリックします。



サンプルデータは、[ヘルプ]—[マニュアル]コマンドで表示されるマニュアルサイトからダウンロード可能です。
※利用するには、インターネット接続環境が必要です。



4 読み込むX-FIELDデータのファイルをクリックします。

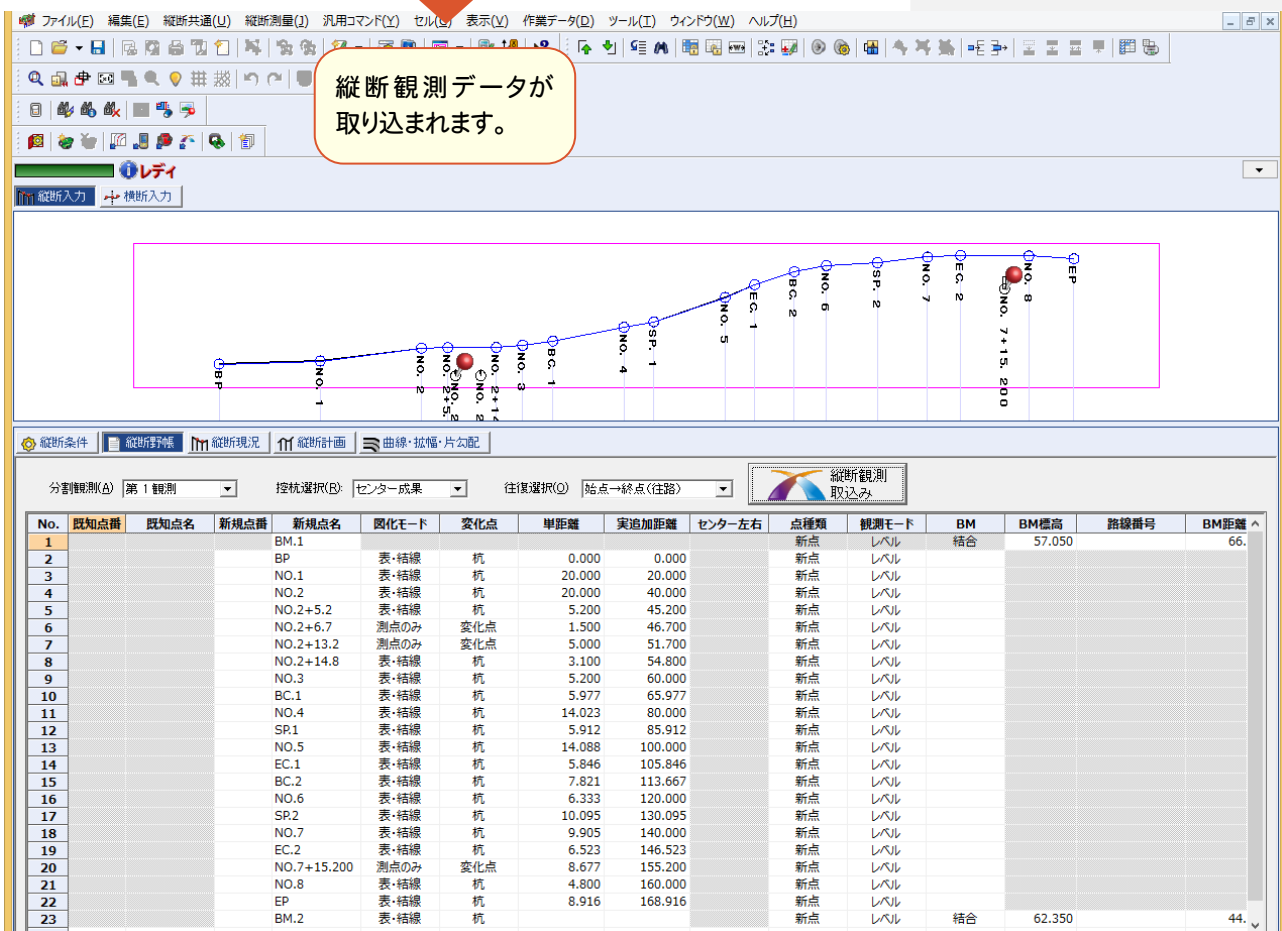
5 [開く]をクリックします。

6 取り込み先を確認します。

7 [OK]をクリックします。

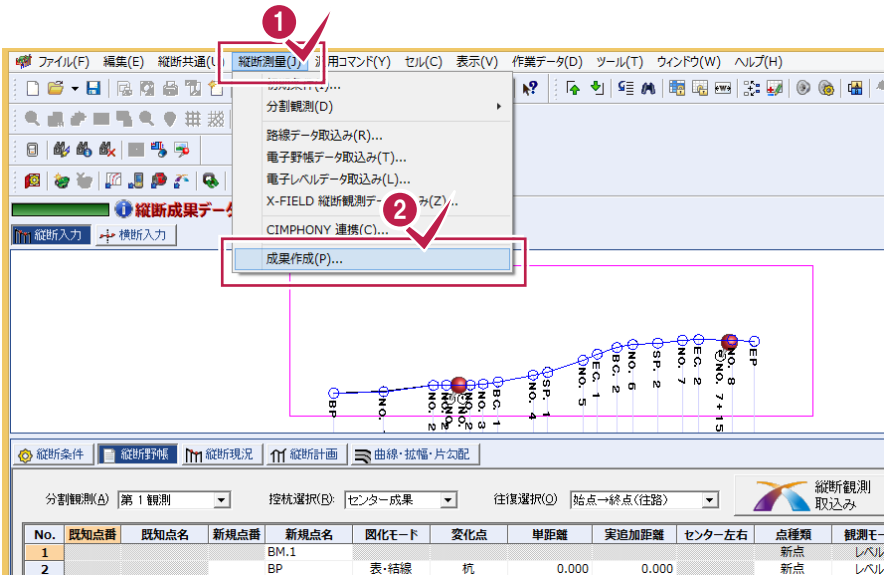
8 確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

縦断観測データが取り込まれます。



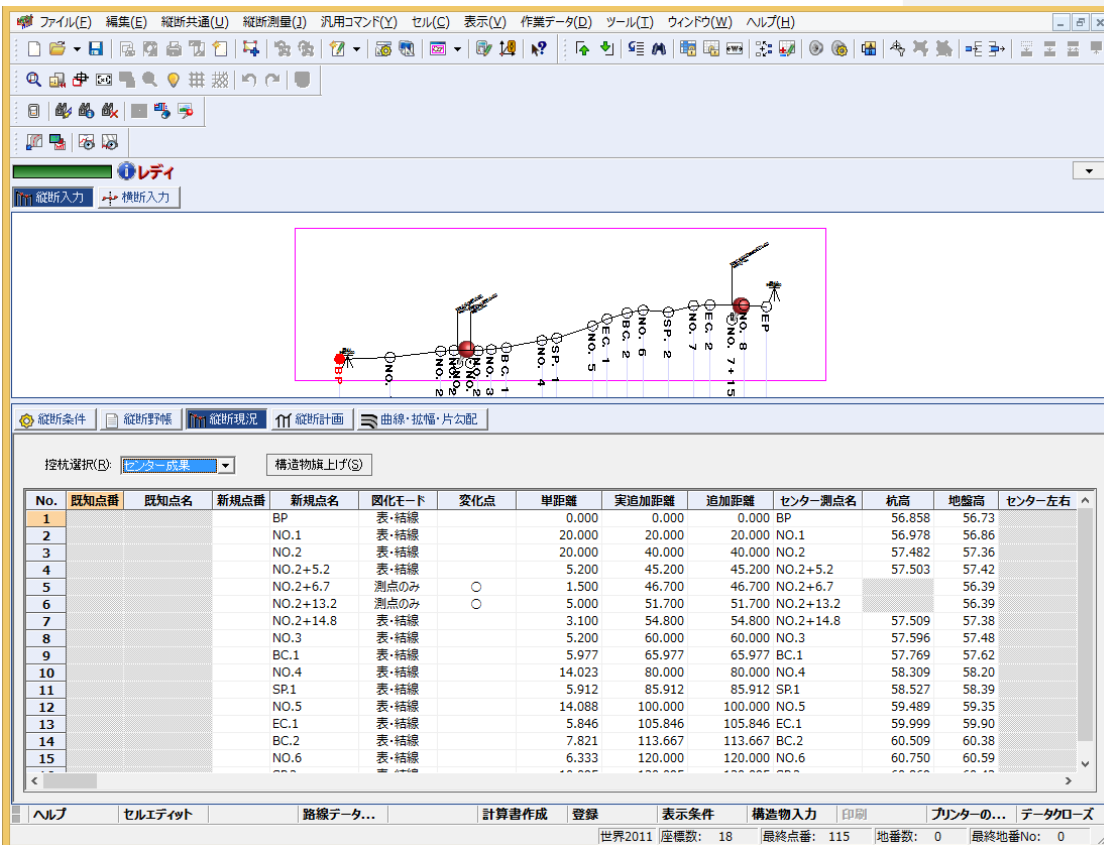
4-5 縦断成果を作成する

縦断成果を作成します。



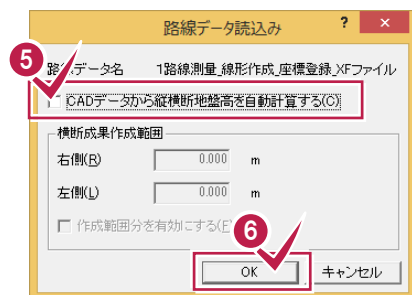
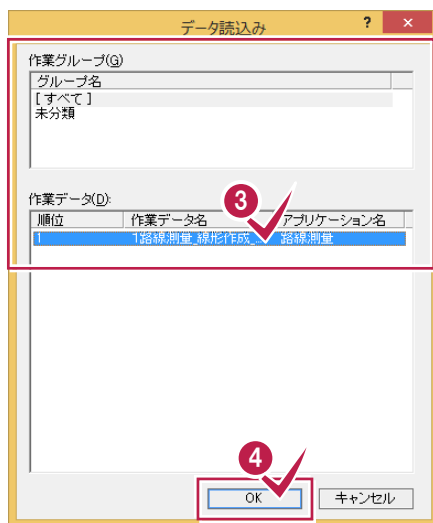
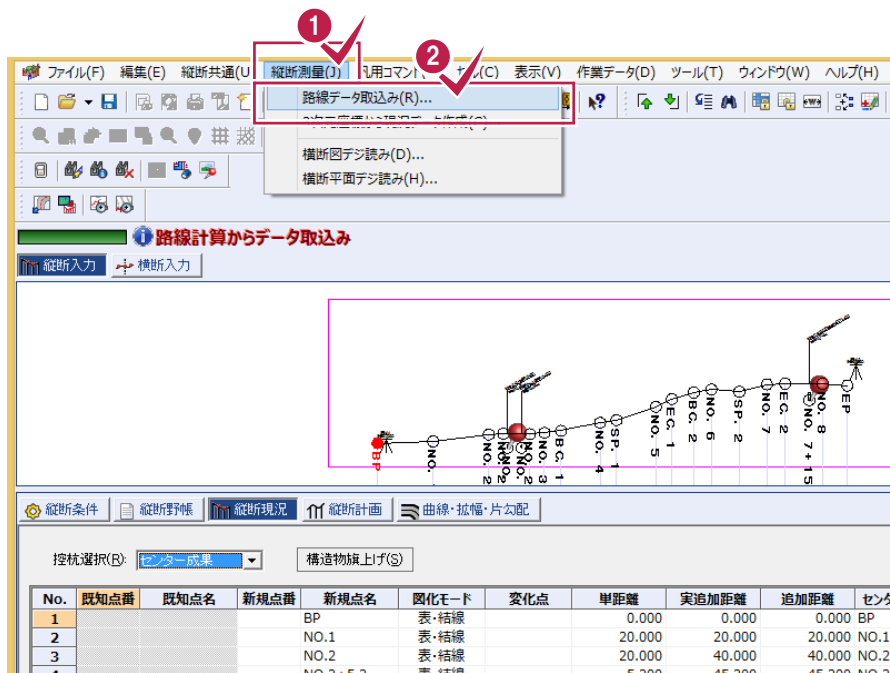
1 [縦断測量]をクリックします。

2 [成果作成]をクリックします。



4-6 路線データを取り込む

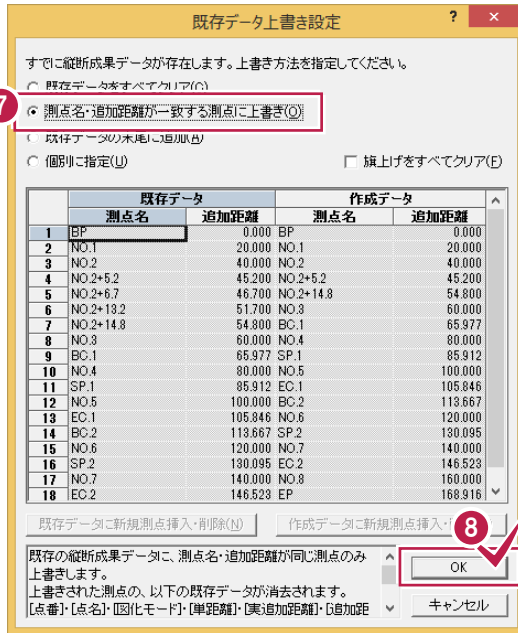
作成した縦断成果に路線データを取り込みます。



- 1 [縦断測量]をクリックします。
- 2 [路線データ取込み]をクリックします。

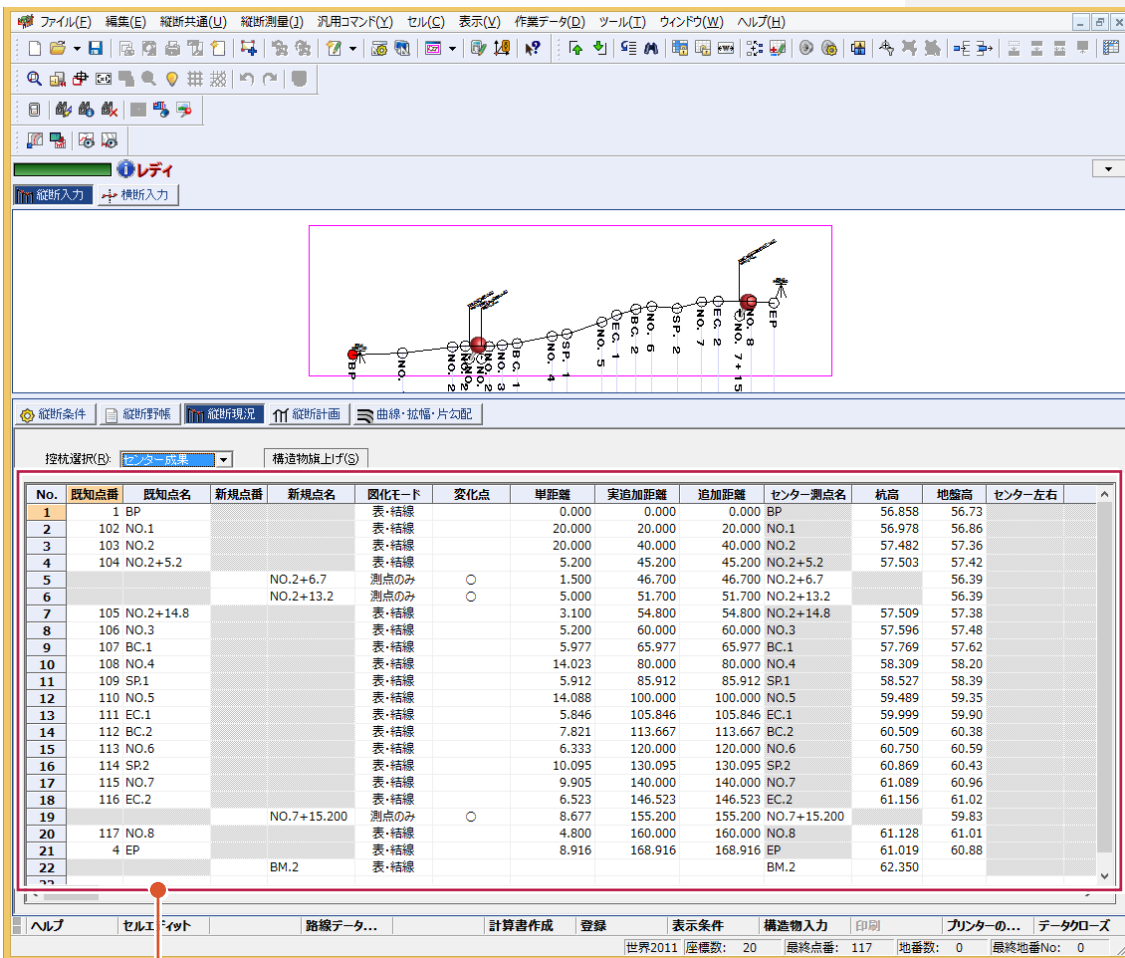
- 3 路線データをクリックします。
- 4 [OK]をクリックします。

- 5 [CADデータから縦横断地盤高を自動計算する]のチェックをクリックしてオフにします。
- 6 [OK]をクリックします。



7 [測点名・追加距離が一致する測点に上書き]が選択されていることを確認します。

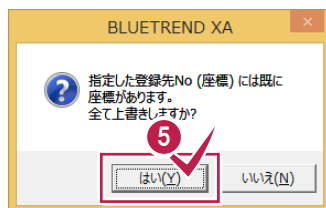
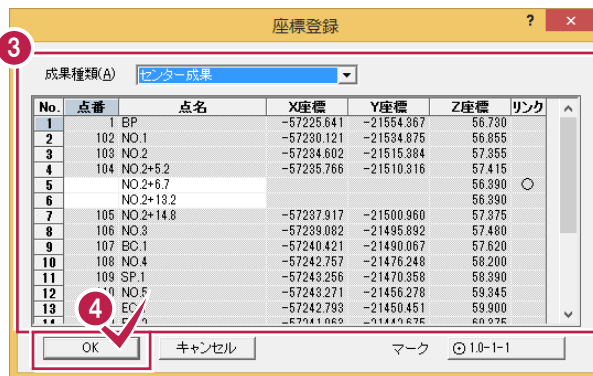
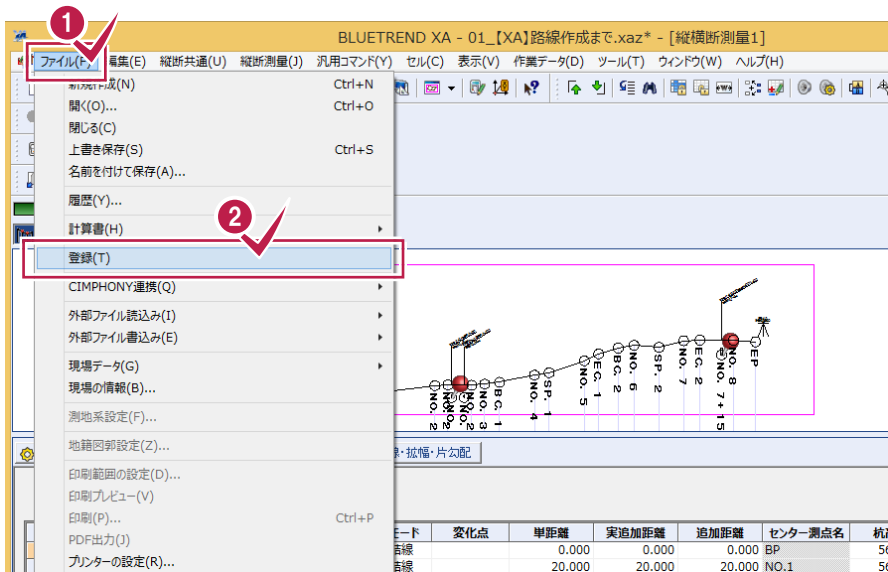
8 [OK]をクリックします。



既存の路線データに杭高が設定されます。

4-7 座標を登録する

座標を登録します。



X-FIELDの縦断観測データに構造物や写真リンクが入力されている場合

X-FIELDの縦断観測データに入力されている構造物や写真リンクデータも取り込まれます。

No.	既知点番	既知点名	新規点番	新規点名	既知モード	変化点	単距離	実追加距離	追加距離	センター測点名	杭高	地盤高	センター左右	橋断	点種別	橋断移動値	構造物	リンク
1		1 BP			表+橋線		0.000	0.000	0.000	BP	56.858	56.73		なし	登録点A	0.00		
2		102 NO.1			表+橋線		20.000	20.000	20.000	NO.1	56.978	56.86		なし	登録点A	0.00		
3		103 NO.2			表+橋線		20.000	40.000	40.000	NO.2	57.482	57.36		なし	登録点A	0.00		
4		104 NO.2+5.2			表+橋線		5.200	45.200	45.200	NO.2+5.2	57.503	57.42		なし	登録点A	0.00		
5				NO.2+6.7	測点のみ	○	1.500	46.700	46.700	NO.2+6.7		56.39		なし	新点		HPp300	○
6				NO.2+13.2	測点のみ	○	5.000	51.700	51.700	NO.2+13.2		56.39		なし	新点		HPp300	
7		105 NO.2+14.8			表+橋線		3.100	54.800	54.800	NO.2+14.8	57.509	57.38		なし	登録点A	0.00		
8		106 NO.3			表+橋線		5.200	60.000	60.000	NO.3	57.596	57.48		なし	登録点A	0.00		
9		107 BC.1			表+橋線		5.977	65.977	65.977	BC.1	57.769	57.62		なし	登録点A	0.00		
10		108 NO.4			表+橋線		14.023	80.000	80.000	NO.4	58.309	58.20		なし	登録点A	0.00		
11		109 SP.1			表+橋線		5.912	85.912	85.912	SP.1	58.527	58.39		なし	登録点A	0.00		
12		110 NO.5			表+橋線		14.088	100.000	100.000	NO.5	59.489	59.35		なし	登録点A	0.00		
13		111 EC.1			表+橋線		5.846	105.846	105.846	EC.1	59.999	59.90		なし	登録点A	0.00		
14		112 BC.2			表+橋線		7.821	113.667	113.667	BC.2	60.509	60.38		なし	登録点A	0.00		
15		113 NO.6			表+橋線		6.333	120.000	120.000	NO.6	60.750	60.59		なし	登録点A	0.00		
16		114 SP.2			表+橋線		10.095	130.095	130.095	SP.2	60.869	60.43		なし	登録点A	0.00		
17		115 NO.7			表+橋線		9.905	140.000	140.000	NO.7	61.089	60.96		なし	登録点A	0.00		
18		116 EC.2			表+橋線		6.523	146.523	146.523	EC.2	61.156	61.02		なし	登録点A	0.00		
19				NO.7+15.200	測点のみ	○	8.677	155.200	155.200	NO.7+15.200		59.83		なし	新点		BOX400×400	○
20		117 NO.8			表+橋線		4.800	160.000	160.000	NO.8	61.128	61.01		なし	登録点A	0.00		
21		4 EP			表+橋線		8.916	168.916	168.916	EP	61.019	60.88		なし	登録点A	0.00		
22				BM.2	表+橋線					BM.2	62.350			なし	新点			

[構造物旗上げ]をクリックすると、構造物やBMに対して、旗上げを行います。

X-FIELDの縦断観測データに入力されている構造物、写真リンクデータが取り込まれます。[リンク]セルをダブルクリックすると、リンクファイルを確認できます。

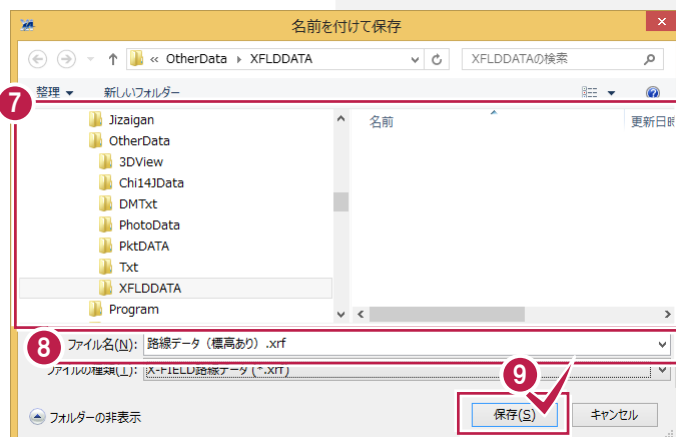
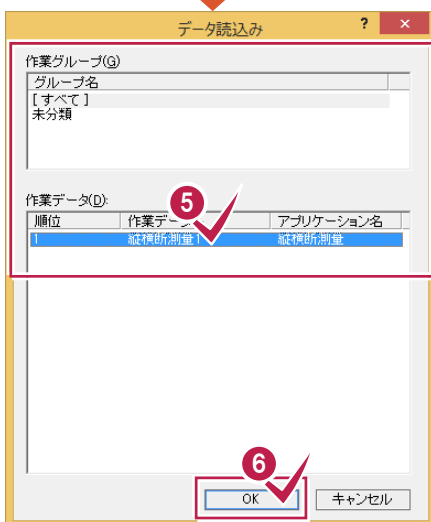
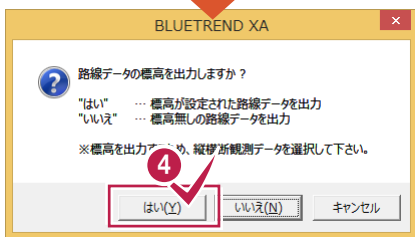
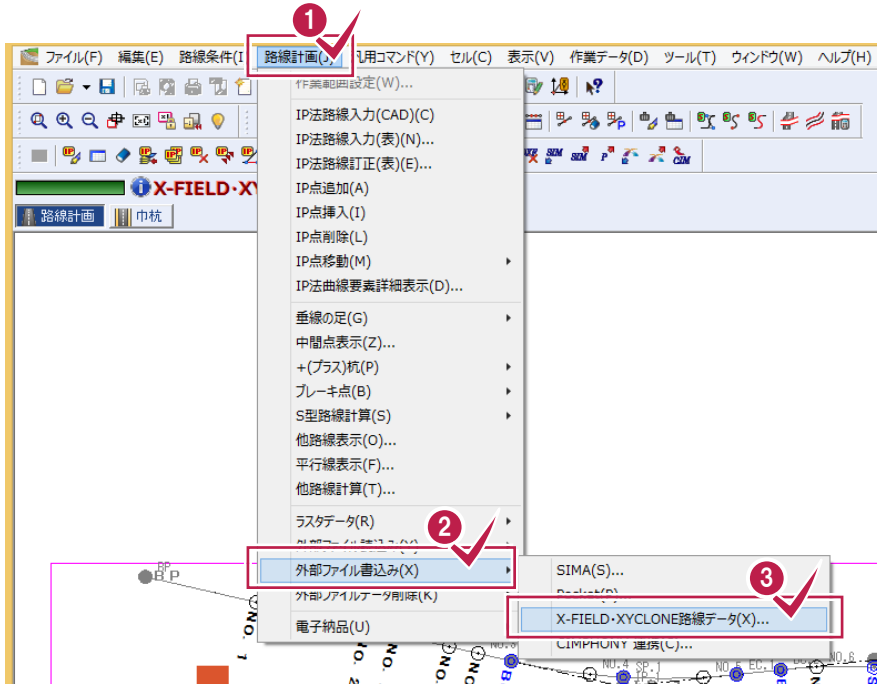
No.	追加距離	構造物	旗上げ	方向	終了追加距離	上文字	下文字	足文字左	足文字右	足文字左(終了側)	足文字右(終了側)	BM	BM名	BM標高
1	46.700	HPp300	一本足	右		NO.2+6.7 HPp300	H=56.39m							
2	51.700	HPp300	一本足	右		NO.2+13.2 HPp300	H=56.39m							
3	155.200	BOX400×400	一本足	右		NO.7+15.200 BO	H=59.83m							
4	0.000											○	BM.1	57.050
5	168.916											○	BM.2	62.350

5 路線データの書き込み

BLUETREND XAの縦横断測量で杭高をプラスした路線データを、X-FIELDで読み込めるデータ(xrf)としてファイルに書き込みます。

5-1 路線データを書き込む

路線データを書き込みます。



- 1 路線測量の[路線計画]をクリックします。
- 2 [外部ファイル書込み]をクリックします。
- 3 [X-FIELD・XYCLONE路線データ]をクリックします。
- 4 ここでは、標高が設定された路線データを出力するので、[はい]をクリックします。
- 5 出力する路線データの標高が設定されている縦横断測量の作業データをクリックします。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 保存先を指定します。
- 8 ファイル名を入力します。
- 9 [保存]をクリックします。

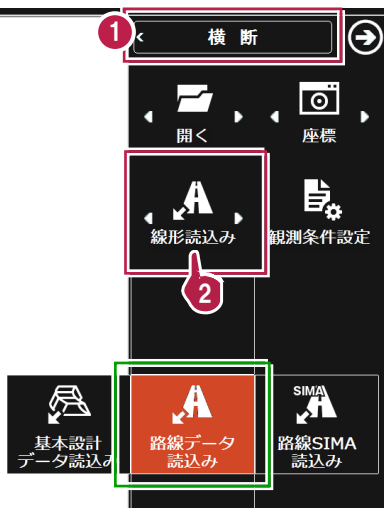
6 横断観測

X-FIELDで、BLUTREND XAの路線データを読み込んで、横断観測をおこないます。

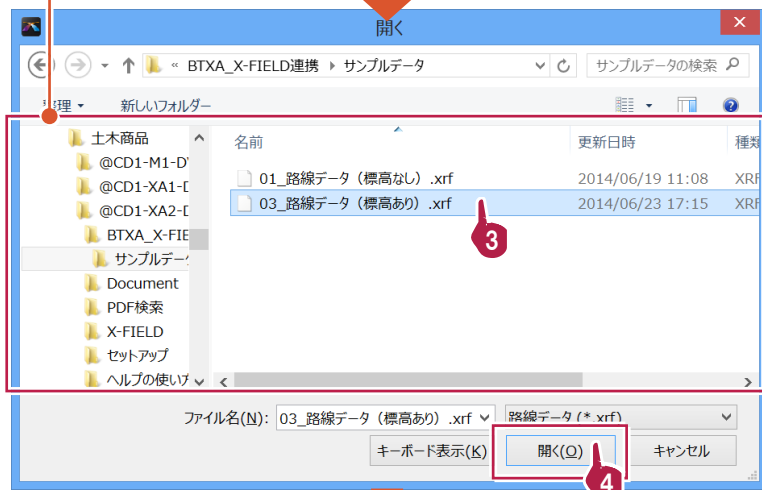
6-1 路線データを読み込む

ここでは、サンプルの路線データ「03_路線データ(標高あり).xrf」を読み込みます。

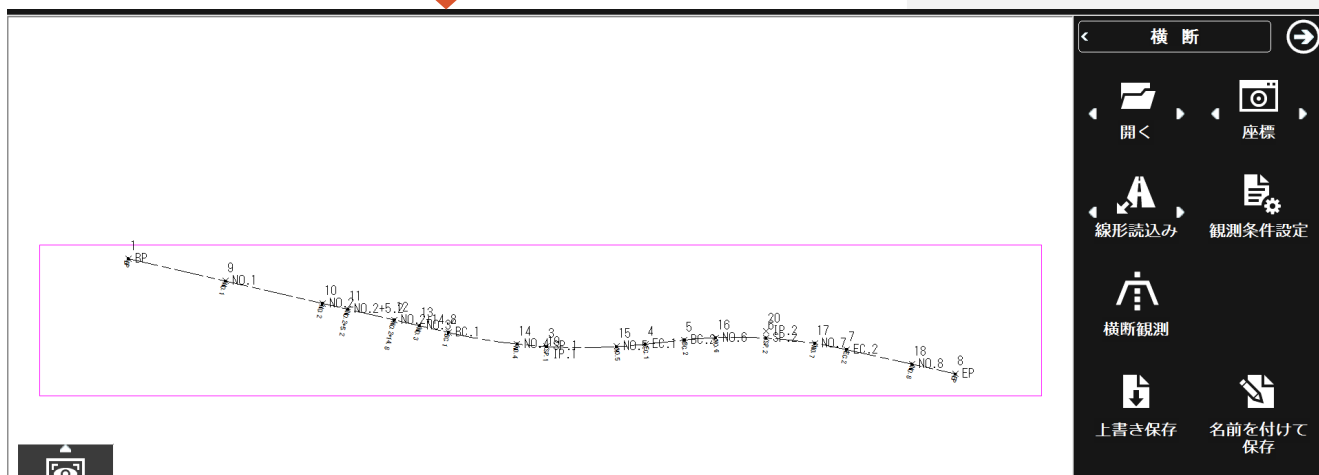
サンプルデータは、[ヘルプ]—
[マニュアル]コマンドで表示さ
れるマニュアルサイトからダウン
ロード可能です。
※利用するには、インターネット
接続環境が必要です。



- 1 X-FIELDの観測パネルで、
[横断]を選択します。
- 2 [線形読み込み]をフリックして、
[路線データ読み込み]を選択
します。

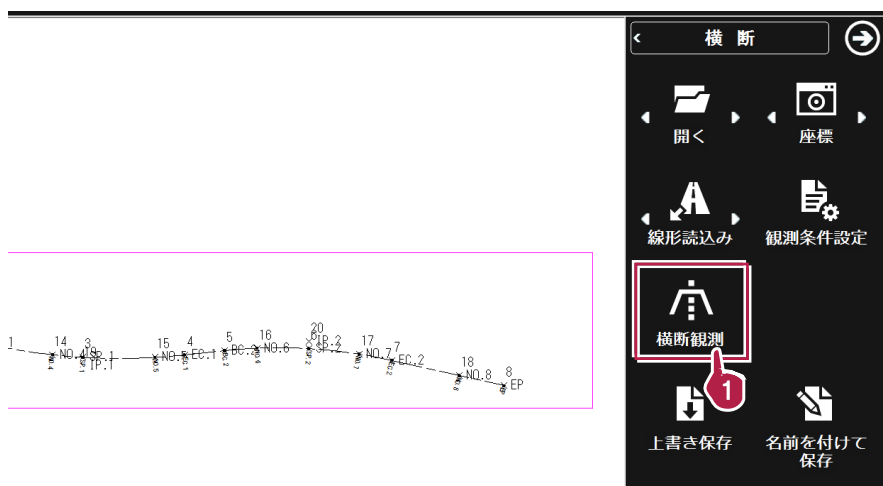


- 3 読み込む路線データのファイル
をタップします。
- 4 [開く]をタップします。



6-2 横断観測を起動する

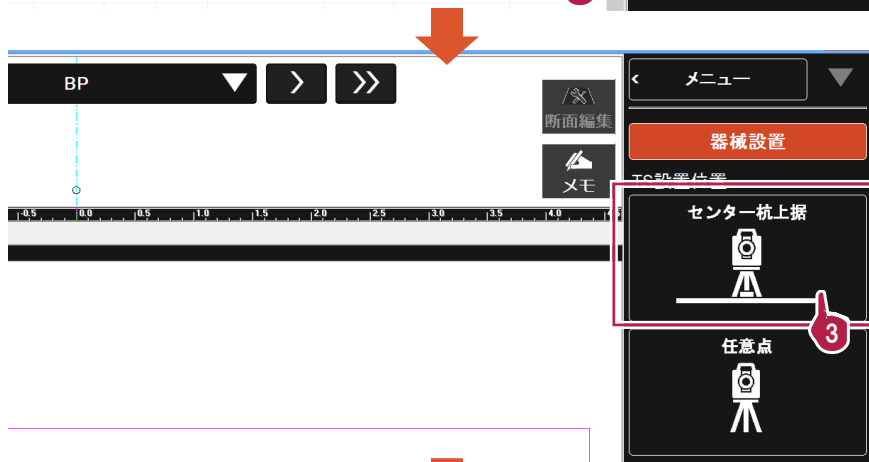
横断観測を起動します。



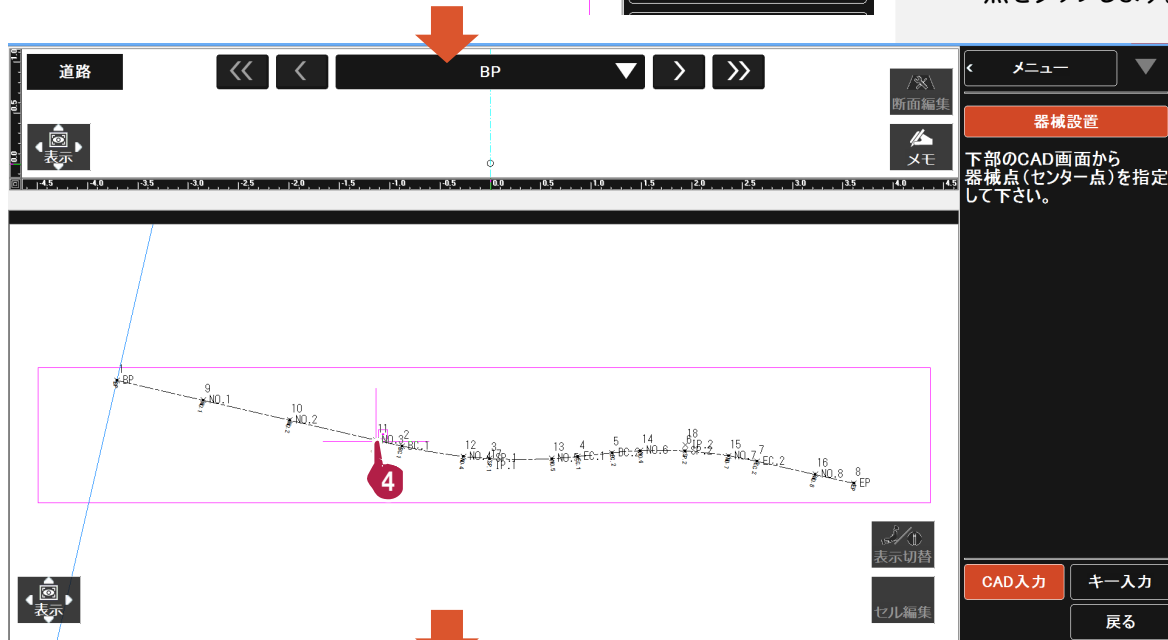
1 [横断観測]をタップします。



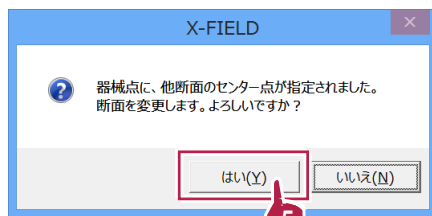
2 [線形+横断]をタップします。



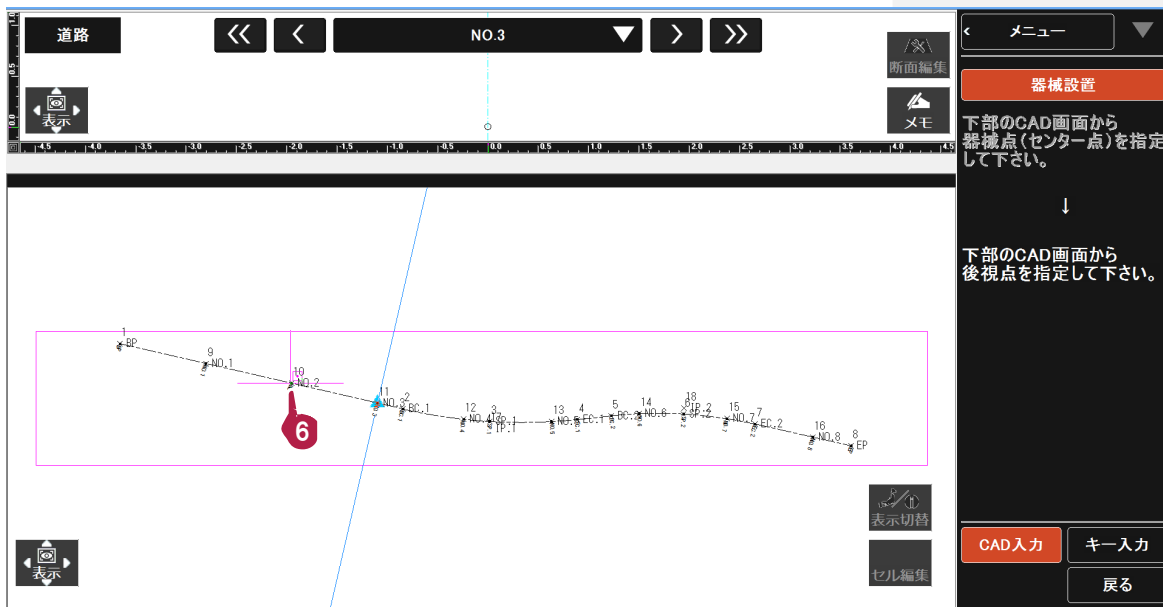
3 器械の設置位置を選択します。ここでは、[センター杭上据]をタップします。



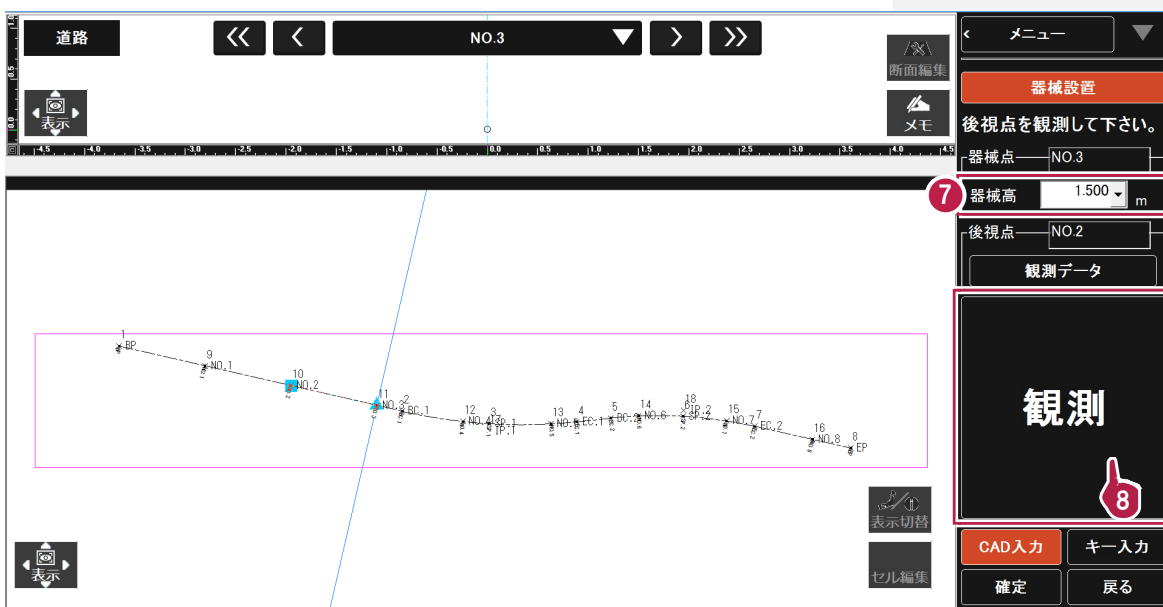
4 CAD画面上の測点から器械点をタップします。



- 5** 初期値では先頭の断面が選択されています。
[センター杭上据]で先頭以外のセンターを器械点に指定した場合は、断面変更のメッセージが表示されますので、[はい]をタップしてください。



- 6** CAD画面の測点から後視点をタップします。

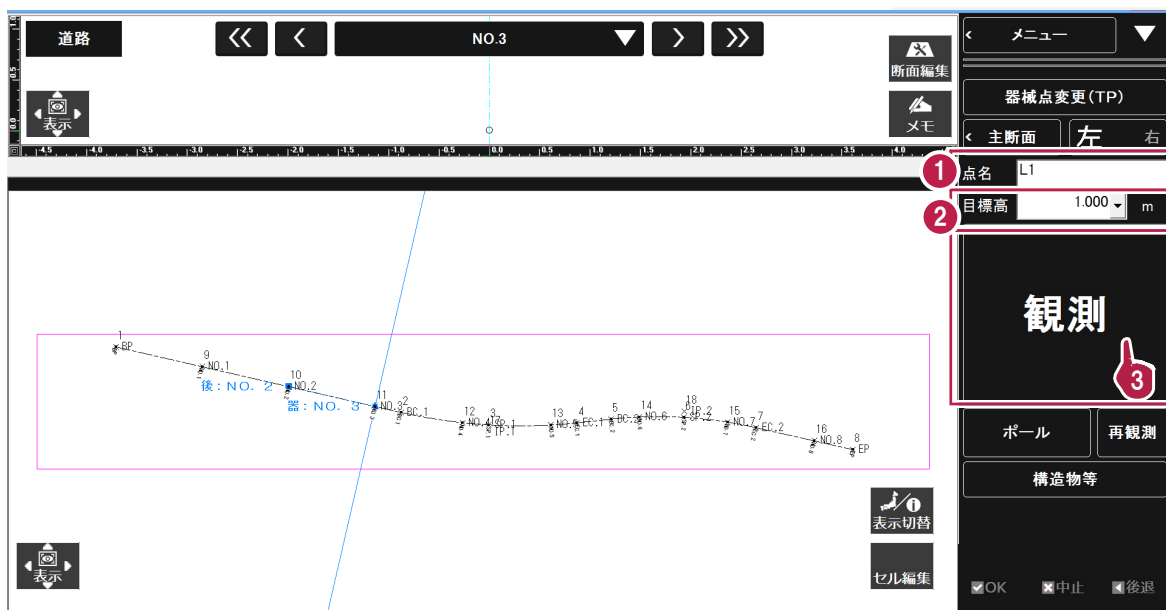


- 7** 器械高を入力します。

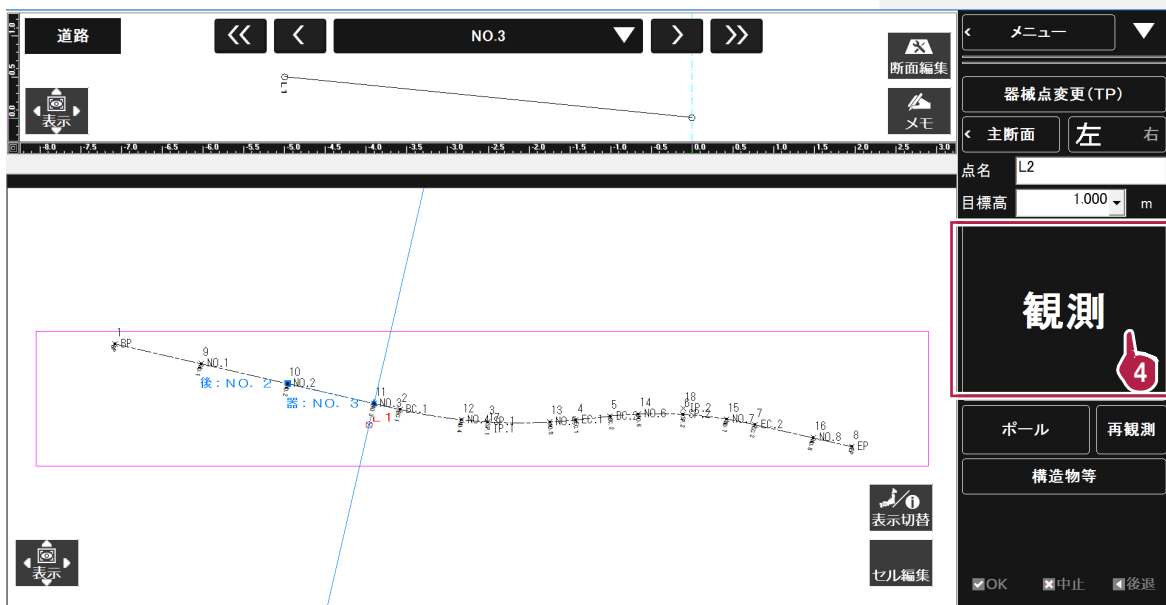
- 8** [観測]をタップして、後視点を観測します。

6-3 TS観測をおこなう

断面情報の設定と、器械の設置位置の設定を終了したら、トータルステーションで観測します。



- 1 視準点名を入力します。
- 2 目標高を入力します。
- 3 [観測]をタップして、視準点を観測します。



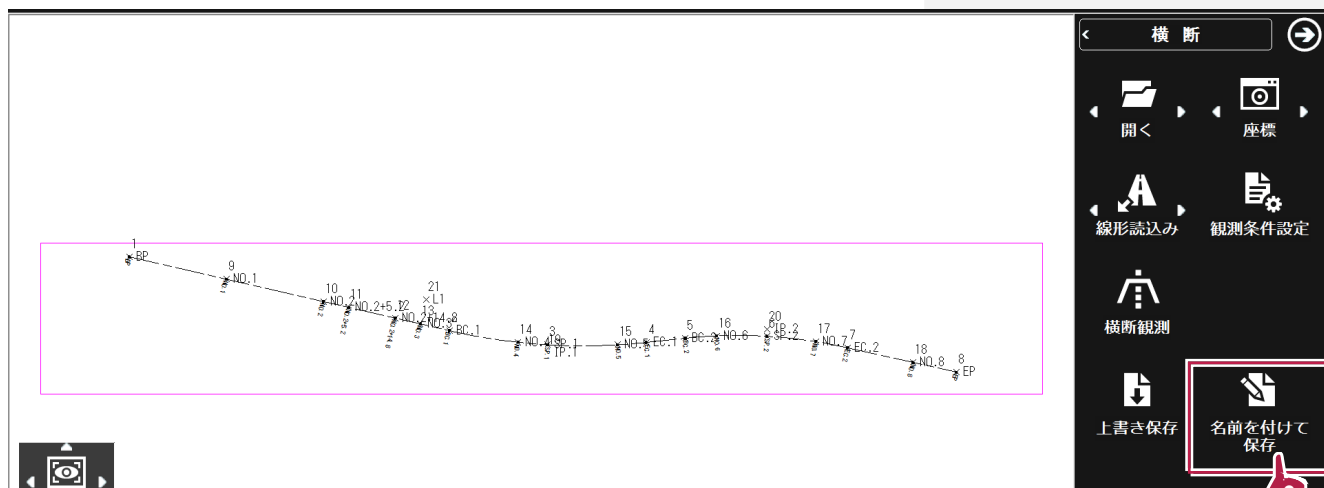
- 4 ①②③を繰り返して、視準点を順に観測します。
このとき[目標高]には前観測の目標高が自動設定されます。
[点名]には、前観測の測点名(末尾が数字の場合は連番)が自動で設定されます。

6-4 作業データを保存する

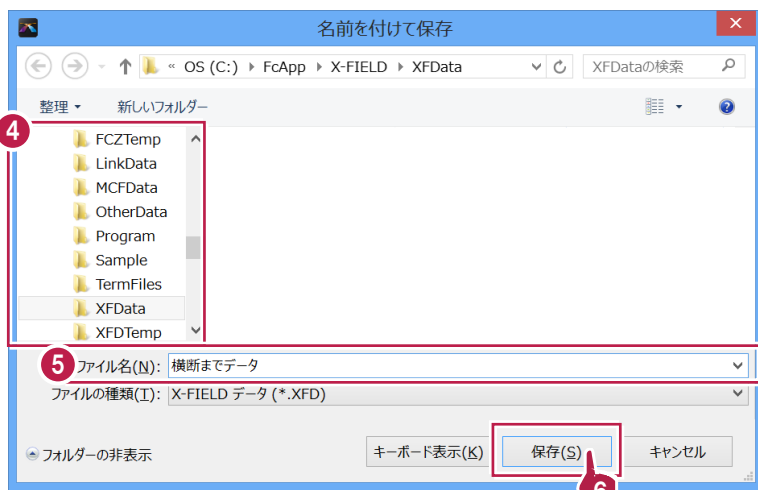
観測データの入力を終了したら、作業データを保存します。



- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [横断観測を閉じる]をタップします。



- 3 [名前を付けて保存]をタップします。
- 4 保存先を指定します。
- 5 ファイル名を入力します。
- 6 [保存]をタップします。

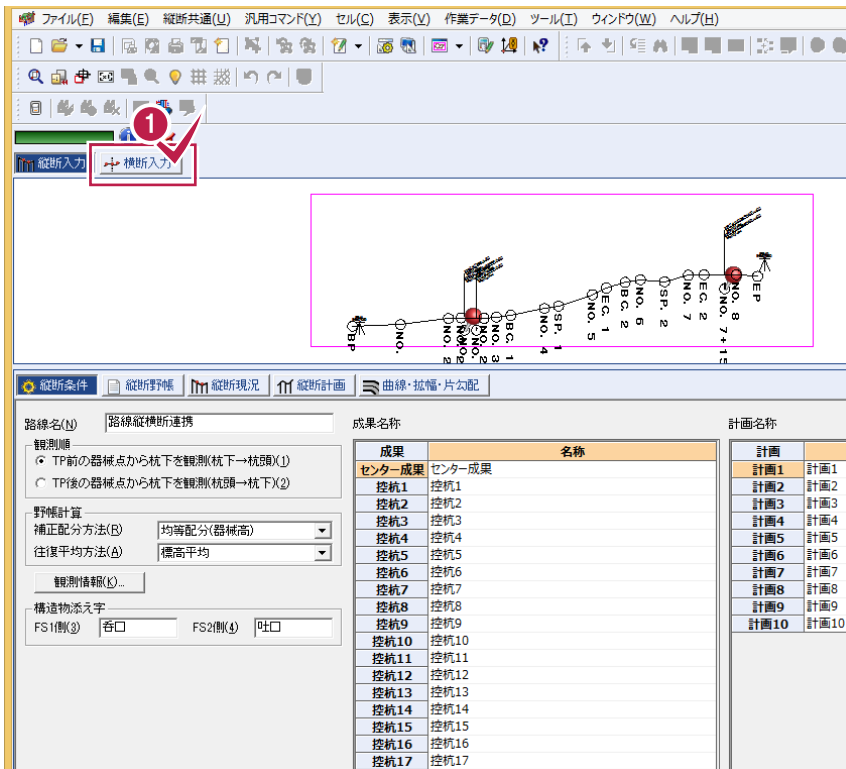


7 横断成果

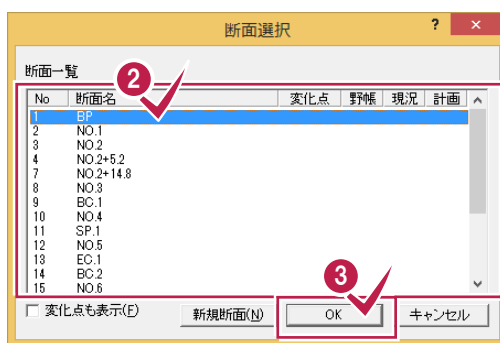
BLUETREND XAIに、X-FIELDの横断観測データを取り込んで、横断成果を作成します。

7-1 横断観測データを取り込む

ここでは、サンプルの X-FIELD データ「04_【XF】横断まで(座標未登録).XFD」を取り込みます。



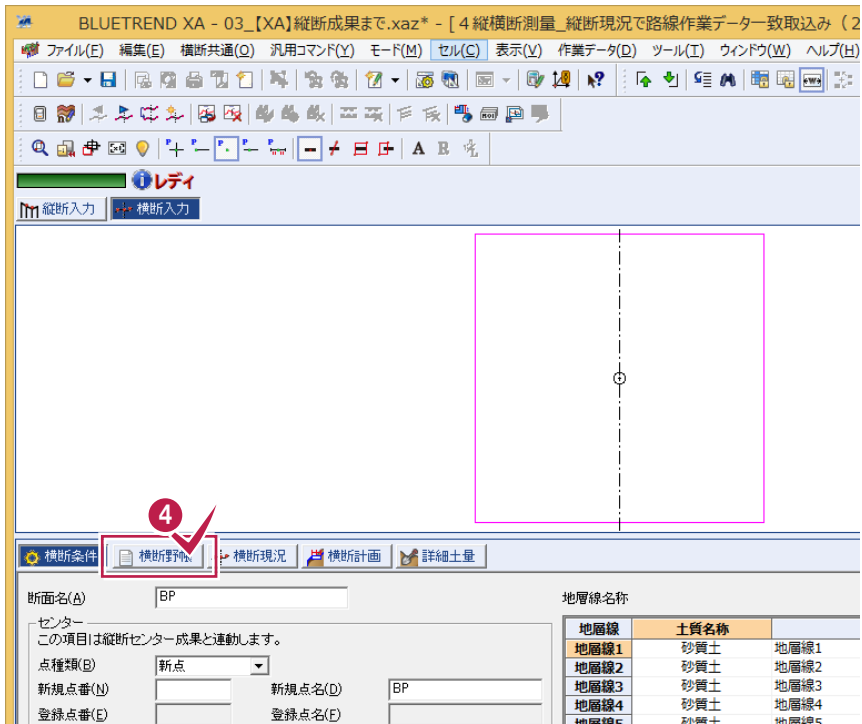
1 縦横断測量の「横断入力」タブをクリックします。



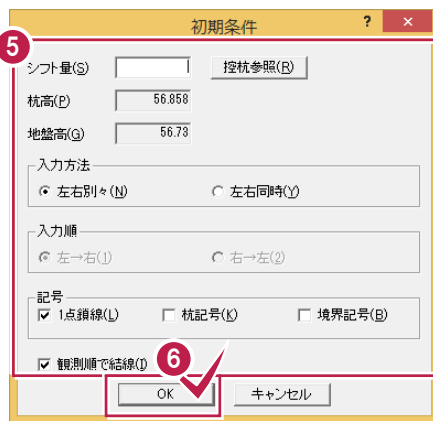
2 断面を選択します。

3 [OK]をクリックします。



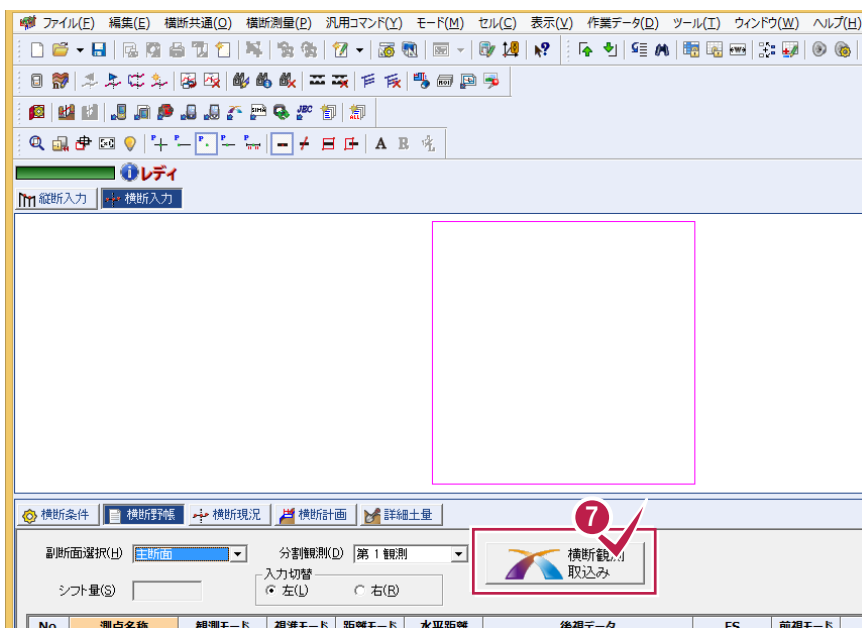


4 [横断野帳]をクリックします。

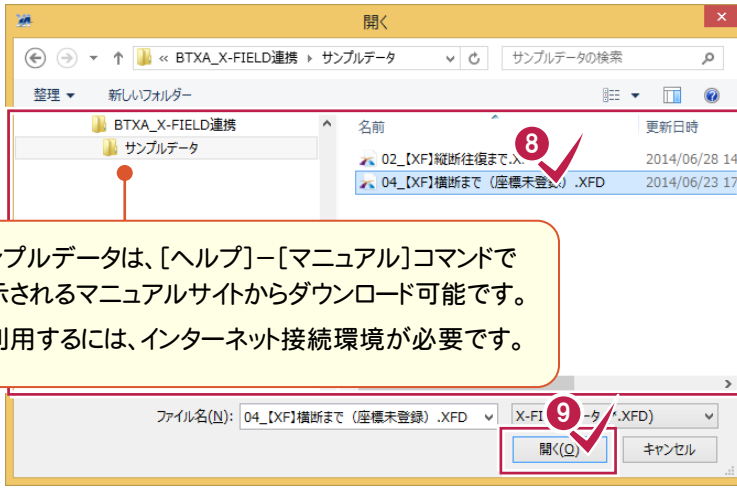


5 初期条件を設定します。

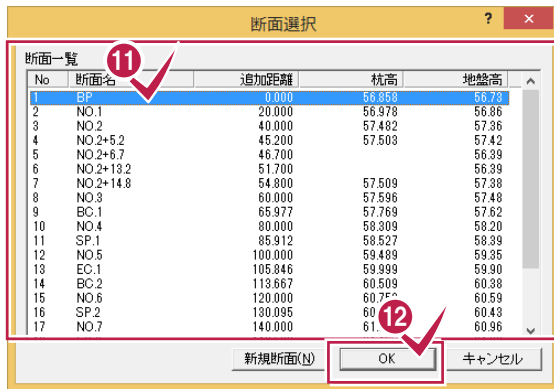
6 [OK]をクリックします。



7 [横断観測取込み]をクリックします。



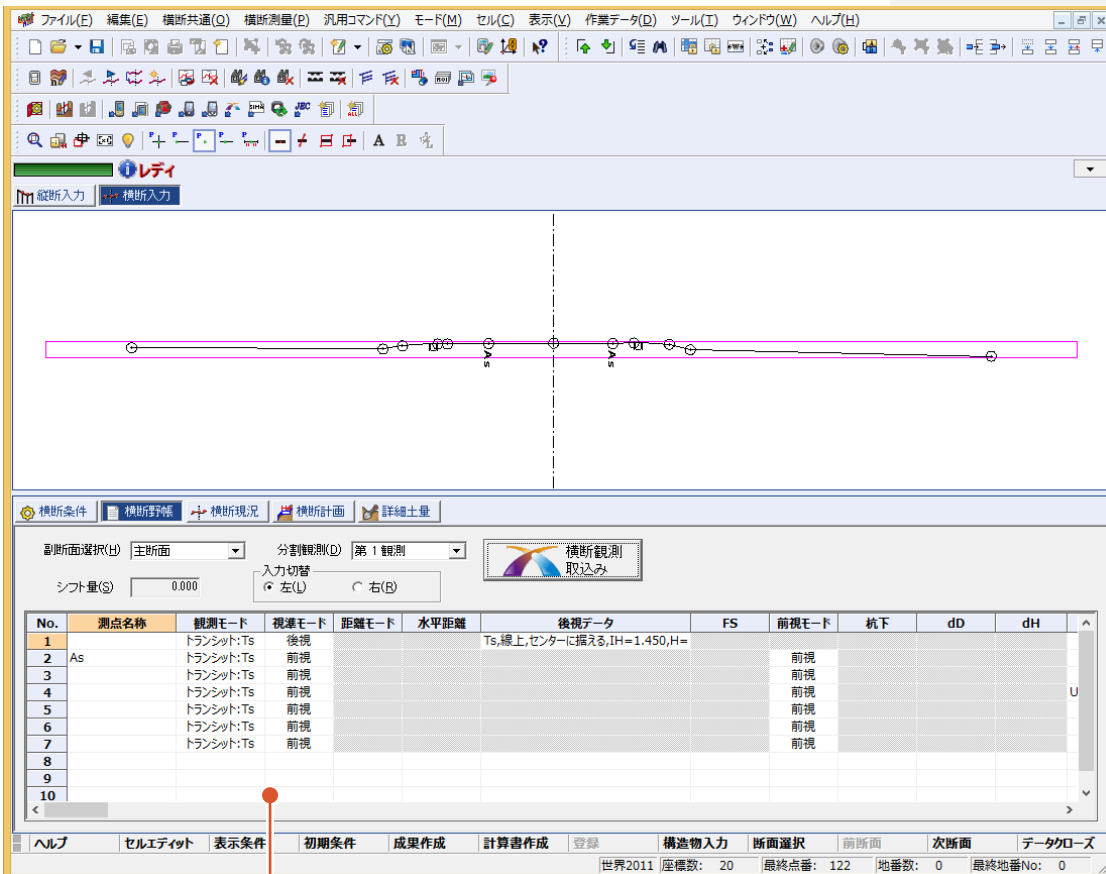
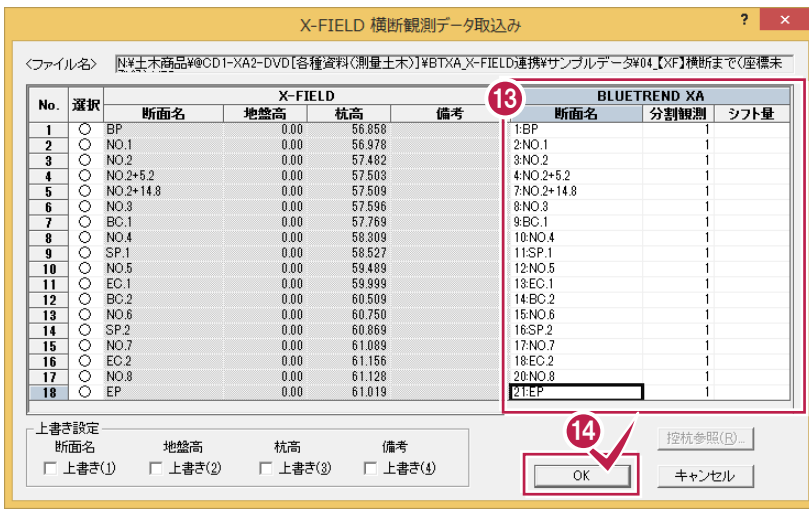
サンプルデータは、[ヘルプ]–[マニュアル]コマンドで表示されるマニュアルサイトからダウンロード可能です。
※利用するには、インターネット接続環境が必要です。



- 8 読み込むX-FIELDデータのファイルをクリックします。
- 9 [開く]をクリックします。

- 10 X-FIELDの横断観測データを取り込むBLUETREND XAの断面を設定します。
設定する断面のセルをクリックします。

- 11 断面を選択します。
- 12 [OK]をクリックします。



7-2 横断成果を作成する

縦断成果を作成します。

1 [横断測量]をクリックします。

2 [一括成果作成]をクリックします。

No.	測点名称	観測モード	視準モード	距離モード	水平距離	後視データ	FS	前視モード	杭下
1		トランシット:Ts	後視			Ts,線上,センターに揃える,IH=1.450,H=			
2	As	トランシット:Ts	前視					前視	
3		トランシット:Ts	前視					前視	
4		トランシット:Ts	前視					前視	
5		トランシット:Ts	前視					前視	
6		トランシット:Ts	前視					前視	
7		トランシット:Ts	前視					前視	
8		トランシット:Ts	前視					前視	
9									
10									



No.	測点名称	四化モード	距離	杭高	地盤高	構造物	リンク	1点箱線	杭記号	境界記号	地層線	控え杭No	新
1	As	結線・測点名称	3.101	56.713	56.71			x	x	x			
2		結線・測点名称	5.051	56.687	56.69			x	x	x			
3		結線・測点名称	5.520	56.691	56.69	U300		x	x	x			
4		結線・測点名称	7.190	56.598	56.60			x	x	x			
5		結線・測点名称	8.121	56.452	56.45			x	x	x			
6		結線・測点名称	20.063	56.510	56.51			x	x	x			
7													
8													
9													
10													
11													
12													